

ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン

～ つながり 創造する

活力と魅力あふれる ふくい嶺北都市圏 ～

平成 31 年 4 月

福 井 市

目 次

第1章 連携中枢都市圏の形成に向けて

1 本ビジョン策定の趣旨	1
2 連携中枢都市圏の名称及び構成市町	2
(1) 連携中枢都市圏の名称	2
(2) 連携中枢都市圏の構成市町	2
3 連携中枢都市圏及び構成市町の概要	3
(1) 連携中枢都市圏の概要	3
(2) 構成市町の概要	4
4 取組期間	10

第2章 ふくい嶺北連携中枢都市圏の概況

1 人口	11
(1) 将来推計人口	11
(2) 市町別の人口推移	12
2 産業	13
(1) 雇用の状況	13
(2) 農林水産業の状況	15
(3) 工業・商業の状況	21
3 観光・文化	25
(1) 観光客入込数	25
(2) 主要観光地別観光客数の推移	27
(3) 観光名所・文化財	28
4 交通	30
(1) 道路・鉄道交通網の状況	30
(2) 交通インフラの状況	33
5 教育	34
(1) 高等教育機関等	34
(2) 文化施設等	35
(3) スポーツ施設	36

6	医療	38
(1)	市町別の医療機関数・医師数	38
(2)	医療機関	38
7	福祉	39
(1)	介護	39
(2)	出産・子育て	41

第3章 ふくい嶺北連携中枢都市圏の将来展望

1	ふくい嶺北連携中枢都市圏の将来像	43
(1)	中長期的な将来像	43
(2)	将来像の実現に向けた基本方針	44
2	ふくい嶺北連携中枢都市圏が目指す目標人口	47
(1)	目標人口の推計方法	47
(2)	将来の目標人口	47

第4章 連携協約に基づき推進する具体的取組

1	具体的取組	48
(1)	圏域全体の経済成長のけん引	48
(2)	高次の都市機能の集積・強化	65
(3)	圏域全体の生活関連機能サービスの向上	72
2	成果指標（再掲）	103

第1章 連携中枢都市圏の形成に向けて

1 本ビジョン策定の趣旨

我が国は本格的な人口減少・少子高齢社会を迎えており、さらに、大都市圏への人口の集中に伴い、地方では人々が快適で安心して暮らしていくための基盤が失われるとともに地方公共団体が行政サービスを持続的に提供できなくなってしまうことが懸念されている。

このような中、人口減少・少子高齢社会にあっても、地域を活性化し経済を持続可能なものとし、地域住民が安心して快適な暮らしを営んでいけるようにするために、地域において、相当の規模と中核性を備える圏域の中心都市が近隣の市町村と連携し、一定の圏域人口を有し活力ある社会経済を維持するための拠点を形成することが必要と考えられている。この考えに基づき、平成26年度より国において「連携中枢都市圏構想」が進められているところである。

そこで、福井市を圏域の中心市として地域の一体的かつ持続的な発展を図るため、福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市の7市と、永平寺町、池田町、南越前町、越前町の4町で構成する連携中枢都市圏の形成に取り組むこととした。

折しも、平成34年度には北陸新幹線の金沢～敦賀間の開業が予定されており、多くの来街者がこの圏域を訪れることとなるので、この機を逸することなく、交流人口のみならず定住人口の増加につなげ、圏域の拠点性を高めていくことが重要となる。

このようなことから、今後、圏域全体の持続的な発展を見据え、7市4町の多様な資源、産業、人材の活用や、人口定住のために必要な高次の都市機能の集積に向けた環境整備、また住民の生活関連機能サービスの維持・向上を目指す有機的な連携等について方向性を示し、今後の具体的な取組を推進するため、本ビジョンを策定する。

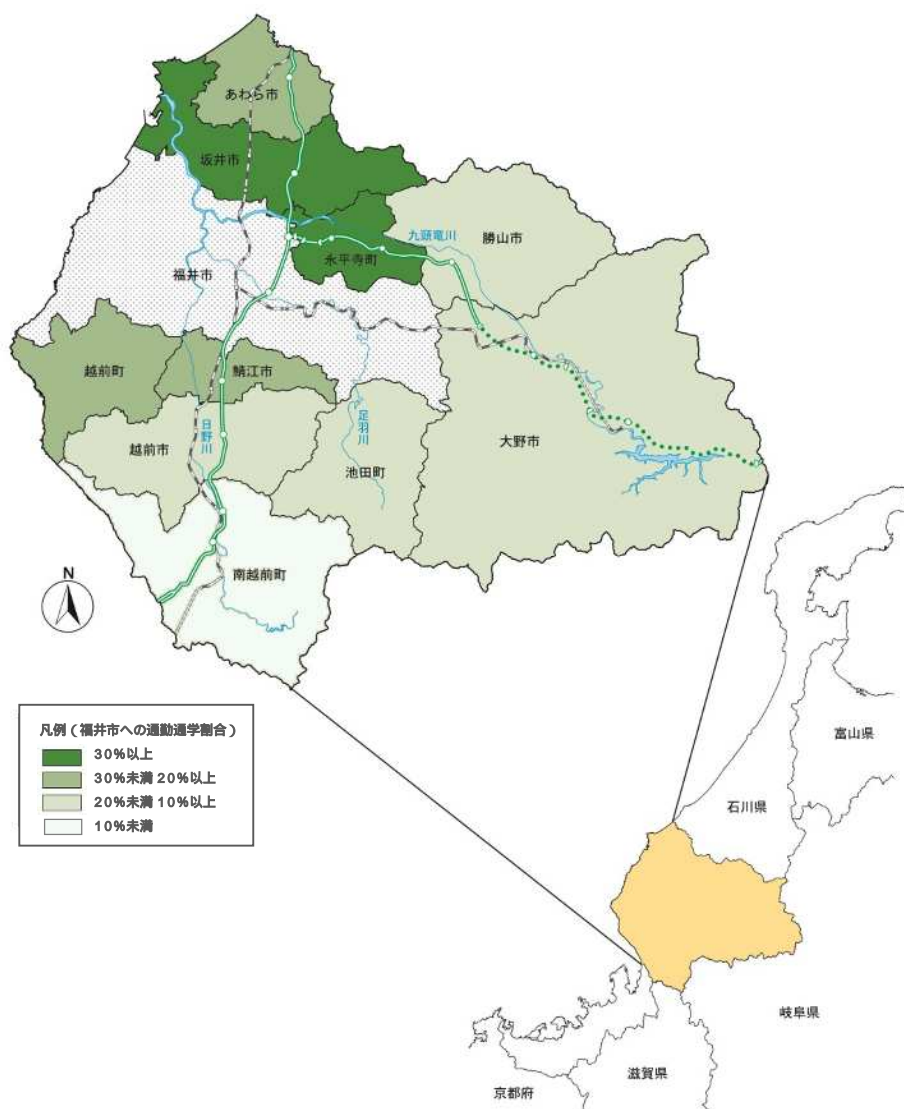
2 連携中枢都市圏の名称及び構成市町

(1) 連携中枢都市圏の名称

本連携中枢都市圏の名称は、ふくい嶺北連携中枢都市圏とする。

(2) 連携中枢都市圏の構成市町

福井市
大野市
勝山市
鯖江市
あわら市
越前市
坂井市
永平寺町
池田町
南越前町
越前町



(注) 構成市町の掲載順は、総務省の「全国地方公共団体コード」による

3 連携中枢都市圏及び構成市町の概要

(1) 連携中枢都市圏の概要

本圏域は、日本の中央部、中部地方の日本海に面した福井県の北部に位置し、総面積は約3,091km²で福井県全体の約74%を占め、また、総人口は646,813人(総務省「平成27年 国勢調査」)で福井県全体の約82%を占めている。

山中・木ノ芽・栃ノ木の各峠を通る稜線を境とした本圏域は、赤兎山や日野山などの緑豊かな山林や、越前加賀海岸国定公園に指定されている日本海海岸線を擁し、四季折々の自然環境に恵まれている。

また、7世紀末に「越前国」が成立して以来、由緒ある歴史が脈々と受け継がれている。京都や奈良にも近いことから新田義貞や朝倉義景、柴田勝家など名だたる武将が越前国で天下を争い、江戸時代になると徳川家康の次男である結城秀康がこの地を治めた。幕末には越前福井藩の松平春嶽や由利公正、橋本左内など日本全体に影響を与えた人物が活躍した。

産業面では、越前焼や和紙、漆器をはじめとする伝統工芸や、繊維や機械、眼鏡などの地場産業、稲作を中心に、そばや越前がに、越前水仙などの農林水産業は、圏域において大きな発展を遂げる限りない可能性を秘めている。

さらに本圏域は、県内の交通・物流の拠点としても重要な役割を担っており、南北を北陸自動車道が縦断しているほか、広域交通の円滑化を図るとともに、文化・観光資源を活かした地域振興や産業経済の発展を図るために、福井市から松本市に至る中部縦貫自動車道の整備が進められている。この中部縦貫自動車道は、本圏域と中部・関東圏を最短で結び、国土強靱化の推進にも不可欠な高規格幹線道路である。

また、平成34年度には、北陸新幹線の金沢～敦賀間が開通することにより、首都圏等とのアクセスが大幅に向上することとなる。北陸新幹線と中部縦貫自動車道との相乗効果を活かし、今後さらに、三大都市圏などとの広域的な交流・連携の中心的な役割を担っていくことが期待される。

(2) 構成市町の概要

福井市

福井市は、日本の中心、中部地方の日本海に面した福井県の県都で、九頭竜、足羽、日野の三大河川流域に広がる福井平野の中央部に位置する。

平成 18 年 2 月に隣接する美山町、越廼村、清水町と合併し、新福井市が誕生。山・海・里の自然に恵まれた地域である。

平成 28 年には、福井駅西口広場の完成に併せ、交通結節機能の充実を図るとともに、福井駅西口再開発ビル「ハピリン」がオープンするなど、北陸新幹線開業に向けた準備を着実に進めている。



一乗谷朝倉氏遺跡

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
H22	266,796人	97,446世帯	536.19km ²	497.6人/km ²	24.57%
H27	265,904人	99,872世帯	536.41km ²	495.7人/km ²	28.07%

大野市

大野市は、昭和 29 年 7 月に大野町など 2 町 6 村が合併して誕生。昭和 45 年 7 月に西谷村、平成 17 年 11 月に和泉村をそれぞれ編入合併し、今に至っている。

総面積約 872.43km² と県内で最も大きく、日本百名山の「荒島岳」をはじめ、市域の 8 割以上を占める山々に囲まれた緑豊かな自然に育まれたまちである。

市街地にある越前大野城は、近年「天空の城」として話題となり、400 年以上前に築かれた短冊状のまち並みからは、城下町の歴史と風情が感じられる。

お互いに助け合い、支え合い、思いやる「結の故郷（ゆいのくに）づくり」を進めている。



越前大野城

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
H22	35,291人	10,847世帯	872.30km ²	40.5人/km ²	30.29%
H27	33,109人	10,698世帯	872.43km ²	38.0人/km ²	33.99%

勝山市

勝山市は、県北東部に位置し、緑豊かな加越の山並みや九頭竜川の流れなど、自然豊かなまちである。

白山信仰の拠点・平泉寺の盛衰とともに歩み、繊維産業を基幹として発展してきた。また、日本で発見されている恐竜化石の多くが発掘されている恐竜王国でもある。

平成 21 年には市内全域が「恐竜渓谷ふくい勝山ジオパーク」として日本ジオパークに認定され、「『まちまるごとジオパーク』の魅力を活かした『ワクワクするときめきに満ちたまち勝山』の創造」を地域ブランドイメージに掲げ、市民が中心となったまちづくりを推進している。



国史跡 白山平泉寺

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
H22	25,466人	7,773世帯	253.68km ²	100.4人/km ²	30.42%
H27	24,125人	7,703世帯	253.88km ²	95.0人/km ²	33.96%

鯖江市

鯖江市は、眼鏡、繊維、漆器の三大地場産業を有する「ものづくりのまち」である。また、全国に先駆けてオープンデータを推進している「ITのまち」であり、文豪・近松門左衛門が生まれ育ったまちでもある。これらの地域資源や眼鏡産地としての知名度を活かし地域ブランド「めがねのまちさばえ」の確立を目指している。

市の中心には 5 万株のつつじが咲き誇る西山公園がある。平成 26 年には西山公園に「道の駅 西山公園」が完成した。



西山公園のつつじ

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
H22	67,450人	21,028世帯	84.75km ²	795.9人/km ²	22.82%
H27	68,284人	22,335世帯	84.59km ²	807.2人/km ²	26.17%

あわら市

あわら市は、福井県の最北端に位置し、北は石川県加賀市に接している。北部には日本海と北潟湖、野菜や果樹の一大生産基地である北部丘陵地が広がっている。南部には平坦地が広がり、水稲のほか大麦や大豆、そばなどが栽培されている。

関西の奥座敷と称されるあわら温泉は、年間 90 万人以上が宿泊する人気温泉地である。JR 芦原温泉駅は福井県の北の玄関口として、北陸新幹線開業に向けて、駅周辺のまちづくりを進めている。



あわら温泉

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
H22	29,989人	9,735世帯	116.99km ²	256.3人/km ²	26.56%
H27	28,729人	9,697世帯	116.98km ²	245.6人/km ²	30.89%

越前市

越前市は、平成 17 年 10 月に武生市と今立町の合併により誕生。文化財の保有数が県下一となり、歴史と文化を誇るまちとして発展を続けている。

かつて越前国の国府が置かれ、長い間、越前を中心として栄えてきた。伝統産業から先端産業まで幅広い産業が集積し、県下第一の製造品出荷額等を誇る産業都市として発展を続けている。

平成 29 年度には、越前市武生中央公園内に越前市 AW - イスポーツアリーナと、本市出身の絵本作家、故かこさとし氏の監修による「だるまちゃん広場」の整備を行った。

平成 30、31 年度には新庁舎の整備、平成 34 年度には北陸新幹線の南越駅（仮称）の開業に伴う周辺整備など、『半世紀に一度のまちづくり』を進めているところである。



だるまちゃん広場

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
H22	85,614人	27,601世帯	230.75km ²	371.0人/km ²	24.31%
H27	81,524人	27,889世帯	230.70km ²	353.4人/km ²	27.79%

坂井市

坂井市は、平成 18 年 3 月に、三国町、丸岡町、春江町、坂井町が合併した、風光明媚な東尋坊や日本最古の天守閣をもつ丸岡城などに年間 500 万人が訪れる観光のまちである。「笑顔で暮らせるまち」をコンセプトに、「住みたい」まちづくりを目指し、雇用、子育て、教育、住環境の充実やシティセールスに力をいれている。

また、県内随一の穀倉地帯、園芸産地であり、平成 29 年に市の花が咲き誇る「ゆりの里公園」には、農業資源と観光資源を融合した新たなスポットが誕生した。



東尋坊

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
H22	91,900人	28,744世帯	209.91km ²	437.8人/km ²	22.66%
H27	90,280人	29,454世帯	209.67km ²	430.6人/km ²	26.30%

永平寺町

永平寺町は、福井市に隣接し、県内最大の河川九頭竜川が中央を流れ、町内には九頭竜川に平行して国道 416 号線とえちぜん鉄道（勝山永平寺線）が走っている。西部にある福井北 JCT・IC を結節点として、北陸自動車道が南北に、中部縦貫自動車道が東西に通っている。

大本山永平寺や吉峰寺、松岡古墳群など多くの歴史文化資源が集積している。また、福井大学医学部、福井県立大学など学術研究機関なども立地している。



曹洞宗大本山 永平寺

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
H22	20,647人	7,217世帯	94.34km ²	218.9人/km ²	24.56%
H27	19,883人	7,276世帯	94.43km ²	210.6人/km ²	27.45%

池田町

池田町は、福井県と岐阜県の県境にあり、福井市、大野市、越前市、南越前町に接し、岐阜県は揖斐川町と接している。

町土の91.7%を占める山と、その谷あいを埋める肥沃な田畑を有効活用し、農業の総合産業化と魅力ある林業や畜産業の振興を図っている。

豊かな自然を活かし、平成28年には「ツリーピクニックアドベンチャーいけだ」がオープンした。



田園風景

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
H22	3,046人	1,006世帯	194.72km ²	15.6人/km ²	40.64%
H27	2,638人	902世帯	194.65km ²	13.6人/km ²	43.18%

南越前町

南越前町は、平成17年1月、南条町、今庄町、河野村の合併により誕生。福井県のほぼ中央、嶺北地域の南端に位置し、北は越前市、越前町、池田町と、東及び南は岐阜県、滋賀県と、西は敦賀市と日本海に接する山・海・里の地形の変化に富んだ自然豊かな町である。

世界の花はす約130種類を鑑賞できる「花はす公園」、京と北陸を結ぶ北国街道の宿場町として栄えた「今庄宿」、平成29年に「荒波を越えた男たちの夢が紡いだ異空間～北前船寄港地・船主集落～」として日本遺産に認定された「河野北前船主通り」など、多くの歴史観光資源に恵まれている。



花はす

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
H22	11,551人	3,483世帯	343.84km ²	33.6人/km ²	30.16%
H27	10,799人	3,353世帯	343.69km ²	31.4人/km ²	33.75%

越前町

越前町は、平成 17 年 2 月に、朝日町・宮崎村・越前町・織田町の 4 町村が合併し、新生「越前町」として誕生。潮風が心地よい日本海の「海」に加え、懐かしい「土」の香りがする風土、優しい「里」が育んだ文化など、それぞれの特徴が合わさり、多彩な文化、多彩な風土を楽しめるまちである。

平成 29 年には、平安時代末期から続く古い歴史を持つ伝統工芸・越前焼が、滋賀県甲賀市の信楽焼、岡山県備前市の備前焼、兵庫県篠山市の丹波焼、愛知県瀬戸市の瀬戸焼、愛知県常滑市の常滑焼とともに「きつと恋する六古窯 - 日本生まれ日本育ちのやきもの産地 - 」として日本遺産に認定された。



越前焼

人口等（出典：総務省「国勢調査」）

	人口	世帯数	面積	人口密度	高齢化率
H22	23,160人	6,728世帯	152.96km ²	151.4人/km ²	27.51%
H27	21,538人	6,560世帯	153.15km ²	140.6人/km ²	31.36%

4 取組期間

都市圏ビジョンの取組期間は、平成31年度（2019年度）から平成35年度（2023年度）の5年間とする。

第2章 ふくい嶺北連携中枢都市圏の概況

1 人口

(1) 将来推計人口

総人口の推移

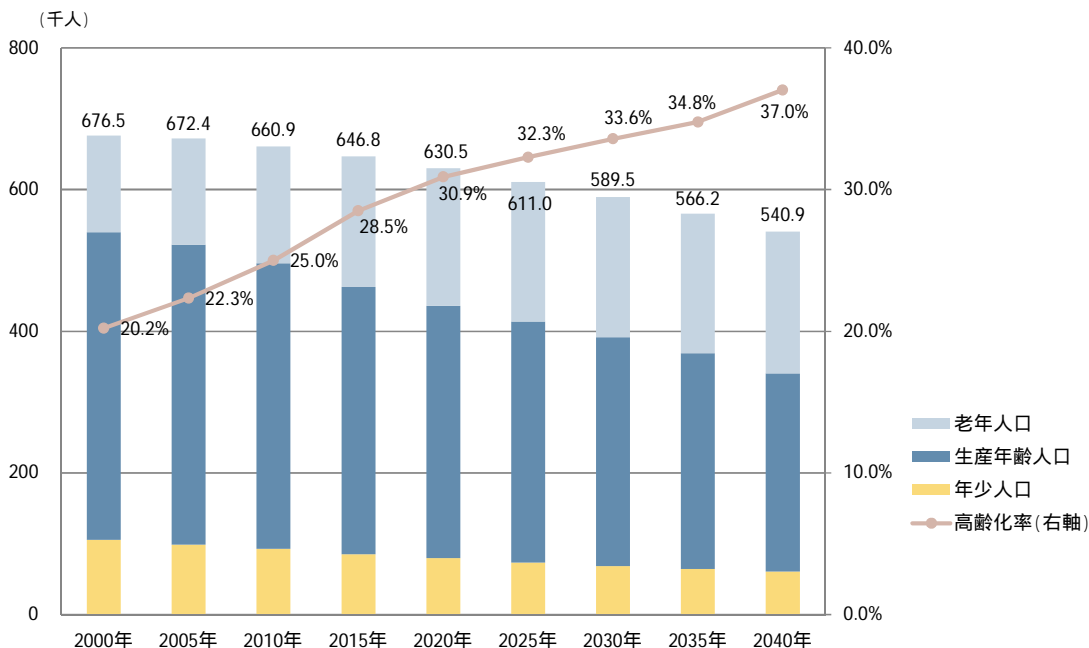
本圏域の総人口は2000年（平成12年）の67.6万人をピークに減少が始まっており、2015年（平成27年）には64.7万人となっている。国立社会保障・人口問題研究所（以下「社人研」という。）の推計では、今後も減少が続き、2040年（平成52年）には54.1万人と、2015年（平成27年）と比べて16.4%減少すると予想されている。

年齢階級別人口の推移

年少人口（0～14歳）消費や労働の中心となる生産年齢人口（15～64歳）は減少を続けており、総人口に占める割合も、2040年（平成52年）には2010年（平成22年）と比べて、それぞれ2.7ポイント減の11.3%、9.3ポイント減の51.7%になることが予想されている。

老年人口（65歳以上）は2020年（平成32年）以降横ばいを見込んでいるが、総人口に占める割合は、2040年には2010年と比べて12.0ポイント増の37.0%になることが予想されている。

図表 圏域の人口と高齢化率の推移（社人研推計含む）



資料：総務省「国勢調査」、社人研「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

(2) 市町別の人口推移

図表 市町別の人口・年齢階級別人口割合の推移

		2000年	2010年	2020年	2030年	2040年	10～40年増減
福井市	総人口	269,557	266,796	264,028	255,360	242,149	9.2%
	(年少人口割合)	(15.1%)	(13.9%)	(12.6%)	(11.7%)	(11.4%)	2.5pt
	(生産年齢人口割合)	(65.9%)	(61.5%)	(57.2%)	(55.8%)	(52.4%)	9.1pt
	(老年人口割合)	(19.0%)	(24.6%)	(30.2%)	(32.6%)	(36.1%)	+ 11.5pt
大野市	総人口	39,632	35,291	30,829	26,323	21,893	38.0%
	(年少人口割合)	(14.9%)	(12.2%)	(11.0%)	(10.3%)	(9.9%)	2.3pt
	(生産年齢人口割合)	(60.8%)	(57.5%)	(51.7%)	(48.7%)	(47.2%)	10.3pt
	(老年人口割合)	(24.3%)	(30.3%)	(37.4%)	(41.0%)	(42.8%)	+ 12.5pt
勝山市	総人口	28,143	25,466	22,778	19,935	17,033	33.1%
	(年少人口割合)	(14.8%)	(11.8%)	(11.1%)	(10.3%)	(9.7%)	2.1pt
	(生産年齢人口割合)	(59.6%)	(57.7%)	(51.2%)	(48.6%)	(47.4%)	10.3pt
	(老年人口割合)	(25.6%)	(30.4%)	(37.6%)	(41.2%)	(42.9%)	+ 12.5pt
鯖江市	総人口	64,898	67,450	68,669	67,839	65,458	3.0%
	(年少人口割合)	(16.1%)	(15.7%)	(14.3%)	(13.3%)	(12.8%)	2.9pt
	(生産年齢人口割合)	(65.4%)	(61.5%)	(57.7%)	(57.3%)	(54.2%)	7.3pt
	(老年人口割合)	(18.5%)	(22.8%)	(28.0%)	(29.4%)	(33.0%)	+ 10.2pt
あわら市	総人口	32,178	29,989	27,284	24,159	20,939	30.2%
	(年少人口割合)	(15.2%)	(12.4%)	(11.0%)	(10.2%)	(10.0%)	2.4pt
	(生産年齢人口割合)	(63.1%)	(61.1%)	(55.1%)	(52.2%)	(49.4%)	11.7pt
	(老年人口割合)	(21.8%)	(26.6%)	(33.9%)	(37.6%)	(40.6%)	+ 14.0pt
越前市	総人口	87,699	85,614	77,667	69,359	60,663	29.1%
	(年少人口割合)	(16.0%)	(14.4%)	(12.7%)	(11.6%)	(11.2%)	3.2pt
	(生産年齢人口割合)	(63.8%)	(61.3%)	(56.7%)	(54.4%)	(50.7%)	10.6pt
	(老年人口割合)	(20.2%)	(24.3%)	(30.6%)	(33.9%)	(38.0%)	+ 13.7pt
坂井市	総人口	91,173	91,900	88,017	82,402	75,536	17.8%
	(年少人口割合)	(17.3%)	(15.4%)	(13.3%)	(12.0%)	(11.5%)	3.9pt
	(生産年齢人口割合)	(63.9%)	(61.9%)	(57.8%)	(55.5%)	(51.9%)	10.0pt
	(老年人口割合)	(18.8%)	(22.7%)	(28.9%)	(32.5%)	(36.6%)	+ 13.9pt
永平寺町	総人口	21,182	20,647	19,055	17,174	15,241	26.2%
	(年少人口割合)	(14.9%)	(13.3%)	(11.5%)	(10.5%)	(10.5%)	2.8pt
	(生産年齢人口割合)	(64.5%)	(62.1%)	(59.1%)	(57.0%)	(53.4%)	8.7pt
	(老年人口割合)	(20.6%)	(24.6%)	(29.5%)	(32.5%)	(36.1%)	+ 11.5pt
池田町	総人口	3,759	3,046	2,304	1,749	1,326	56.5%
	(年少人口割合)	(14.3%)	(9.1%)	(8.0%)	(7.5%)	(7.2%)	1.9pt
	(生産年齢人口割合)	(51.0%)	(50.2%)	(46.0%)	(40.2%)	(39.2%)	11.0pt
	(老年人口割合)	(34.6%)	(40.6%)	(46.0%)	(52.3%)	(53.6%)	+ 13.0pt
南越前町	総人口	13,221	11,551	10,000	8,475	7,028	39.2%
	(年少人口割合)	(15.4%)	(13.0%)	(11.9%)	(10.9%)	(9.8%)	3.2pt
	(生産年齢人口割合)	(58.6%)	(56.8%)	(51.4%)	(49.0%)	(48.0%)	8.8pt
	(老年人口割合)	(26.0%)	(30.2%)	(36.7%)	(40.1%)	(42.2%)	+ 12.0pt
越前町	総人口	25,017	23,160	19,892	16,727	13,624	41.2%
	(年少人口割合)	(15.8%)	(13.7%)	(11.9%)	(10.0%)	(9.0%)	4.7pt
	(生産年齢人口割合)	(61.0%)	(58.8%)	(52.8%)	(49.7%)	(45.9%)	12.9pt
	(老年人口割合)	(23.1%)	(27.5%)	(35.3%)	(40.2%)	(45.1%)	+ 17.6pt
圏域合計	総人口	676,459	660,910	630,523	589,502	540,890	18.2%
	(年少人口割合)	(15.6%)	(14.0%)	(12.6%)	(11.6%)	(11.3%)	2.7pt
	(生産年齢人口割合)	(64.2%)	(61.0%)	(56.5%)	(54.8%)	(51.7%)	9.3pt
	(老年人口割合)	(20.2%)	(25.0%)	(30.9%)	(33.6%)	(37.0%)	+ 12.0pt

資料：総務省「国勢調査」、社人研「日本の地域別将来推計人口（平成30（2018）年推計）」

2 産業

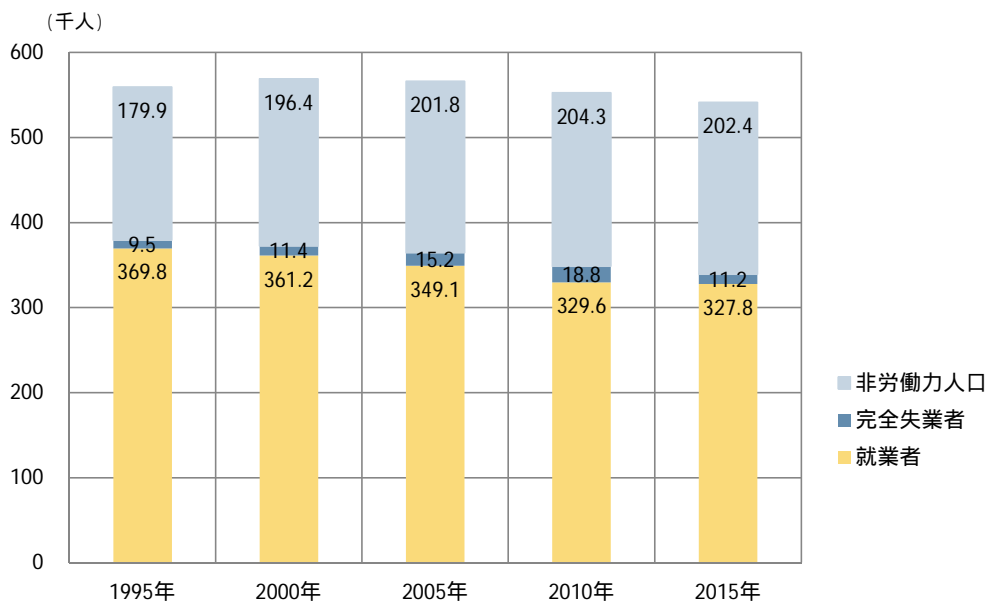
(1) 雇用の状況

労働力人口等の推移

本圏域の労働力の状況を見ると、「労働力人口」は減少が続いており、1995年（平成7年）から2015年（平成27年）までの20年間で約11%減少している。

人口減少や少子高齢化の進行に伴い労働力の確保が大きな課題となる中、若い世代をはじめ女性や高齢者などの活躍を促進するとともに、少子化の流れに歯止めをかけるためにも、男女がともに子育てをしながら働きやすい環境づくりを進めていく必要がある。

図表 圏域の労働力人口等の推移



資料：総務省「国勢調査」

(注) 国勢調査では、「労働力状態」として、15歳以上の人について、調査期間に「仕事をしたかどうかの別」により、次のとおり区分している。

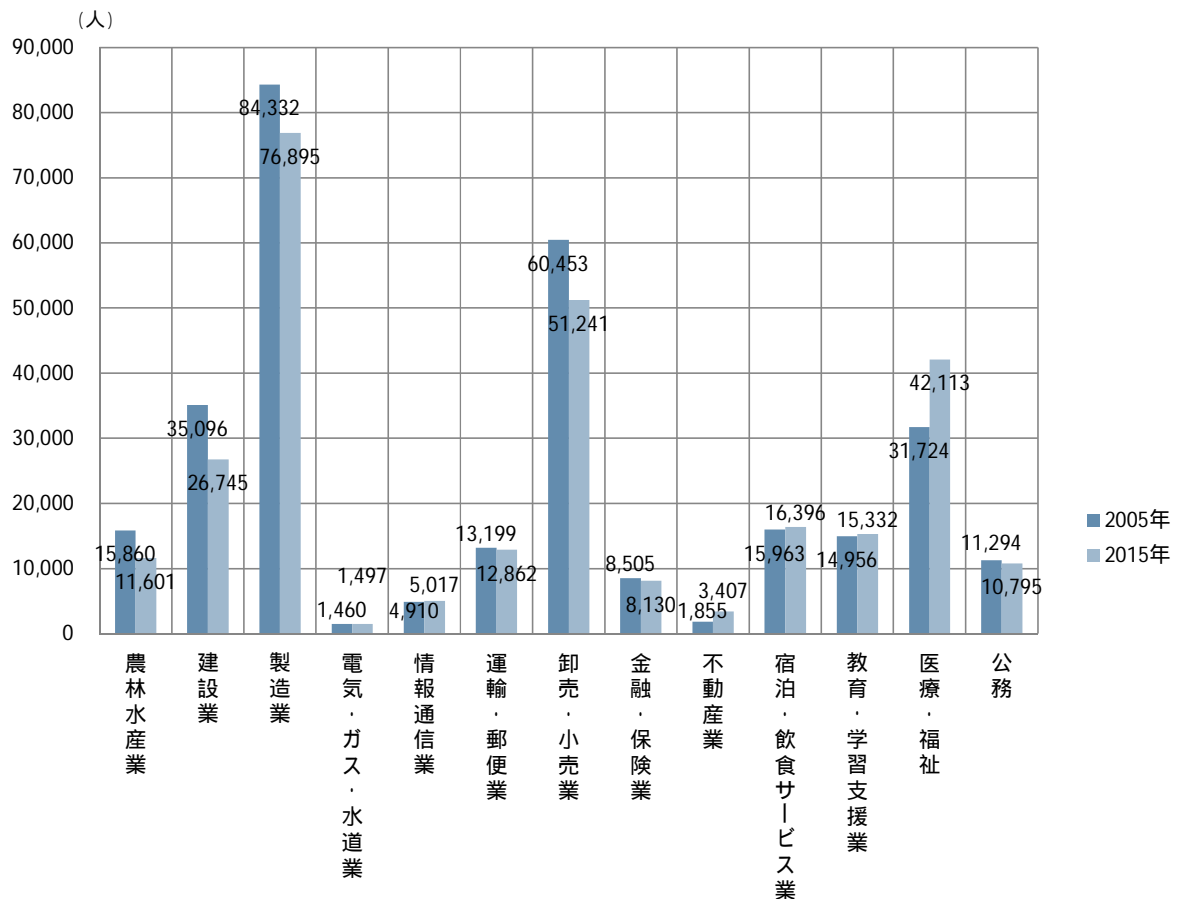
- 「労働力人口」
 - 「就業者」 調査期間中、収入になる仕事を少しでもした人、休業者
 - 「完全失業者」 調査期間中、収入になる仕事を少しもしなかった人のうち、仕事に就くことが可能であって、かつ積極的に仕事を探していた人
- 「非労働力人口」 調査期間中、収入を伴う仕事を少しもしなかった人のうち、休業者及び完全失業者以外の人

産業別就業者数の推移

2005年（平成17年）から2015年（平成27年）までの10年間の産業別就業者数の推移を見ると、製造業では約9%、建設業では約24%、卸売・小売業では約15%減少している。就業者数が多い産業において就業者数の減少が顕著となっている。また、農林水産業でも、就業者数は約27%減少している。

一方で、医療・福祉の分野では、就業者数が約33%増加しており、今後も高齢化が進行することで、さらにニーズは高まると予想されるため、人材の育成をはじめ、質の高いサービスを確保するなど、適切な対応が求められている。

図表 圏域の産業別就業者数の推移



資料：総務省「国勢調査」

(2) 農林水産業の状況

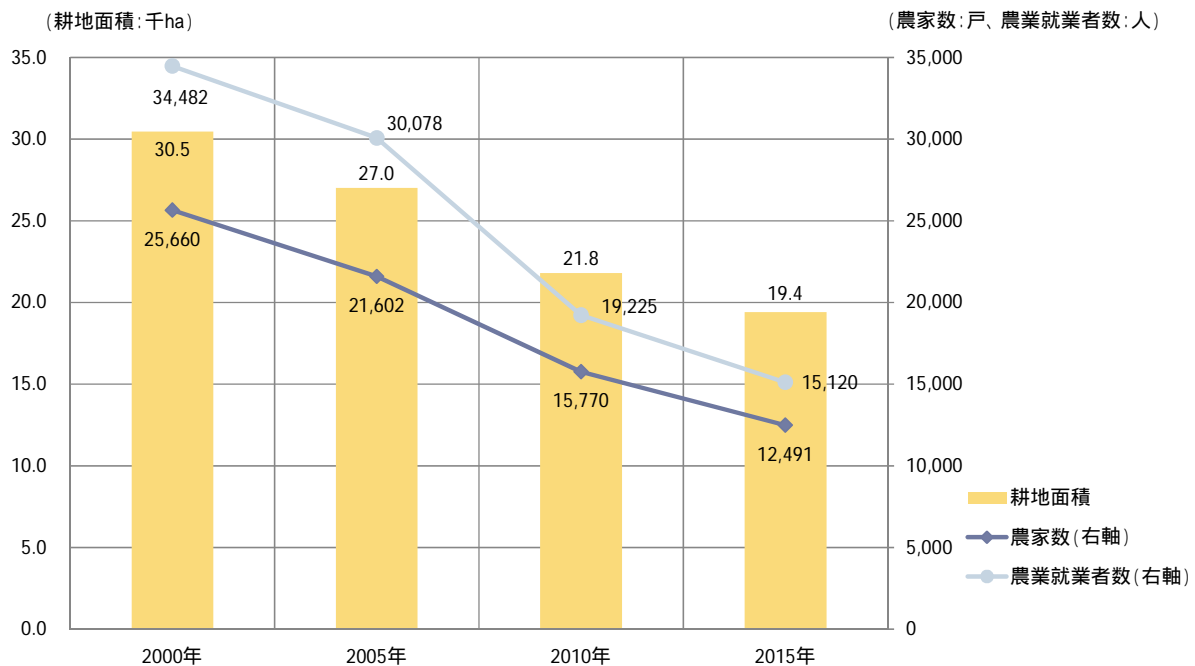
農業

ア 耕地面積・農家数・農業就業者数の推移

2000年(平成12年)から2015年(平成27年)までの15年間の推移を見ると、本圏域の農家数、農業就業者数は高齢化や後継者不足などを原因として、減少が続いており、農家数は25,660戸から12,491戸に約51%、農業就業者数については34,482人から15,120人に約56%減少している。また、それに伴い耕地面積も、30,474haから19,409haに約36%減少している。

農業分野は、担い手の高齢化、耕作放棄地の増加等、厳しい環境に置かれていることから、新規就農を促す、あるいは、圏域内のそれぞれの強みを発揮していくことが重要となる。

図表 圏域の耕地面積・農家数・農業就業者数の推移



資料：農林水産省「農林業センサス」、福井県「県統計年鑑(農業)」

(注) 「耕地面積」は、販売農家の経営耕地面積を指す。

「農家数」は、販売農家数を指す。

「農業就業者数」は、販売農家の農業就業人口を指す。

イ 市町別の耕地面積・農家数・農業就業者数

図表 市町別の耕地面積・農家数・農業就業者数（2015年）

	耕地面積		農家数		農業就業者数	
		(構成比)		(構成比)		(構成比)
福井市	4,505ha	(23.2%)	3,405戸	(27.3%)	3,991人	(26.4%)
大野市	2,529ha	(13.0%)	1,294戸	(10.4%)	1,773人	(11.7%)
勝山市	1,206ha	(6.2%)	850戸	(6.8%)	1,092人	(7.2%)
鯖江市	1,246ha	(6.4%)	716戸	(5.7%)	805人	(5.4%)
あわら市	1,329ha	(6.9%)	689戸	(5.5%)	834人	(5.5%)
越前市	2,310ha	(11.9%)	1,773戸	(14.2%)	2,055人	(13.6%)
坂井市	4,081ha	(21.0%)	2,042戸	(16.3%)	2,492人	(16.5%)
永平寺町	559ha	(2.9%)	499戸	(4.0%)	605人	(4.0%)
池田町	198ha	(1.0%)	162戸	(1.3%)	200人	(1.3%)
南越前町	671ha	(3.5%)	344戸	(2.8%)	382人	(2.5%)
越前町	775ha	(4.0%)	717戸	(5.7%)	891人	(5.9%)
圏域合計	19,409ha	(100.0%)	12,491戸	(100.0%)	15,120人	(100.0%)

資料：農林水産省「農林業センサス」、福井県「県統計年鑑（農業）」

(注) 「耕地面積」は、販売農家の経営耕地面積を指す。

「農家数」は、販売農家数を指す。

「農業就業者数」は、販売農家の農業就業人口を指す。

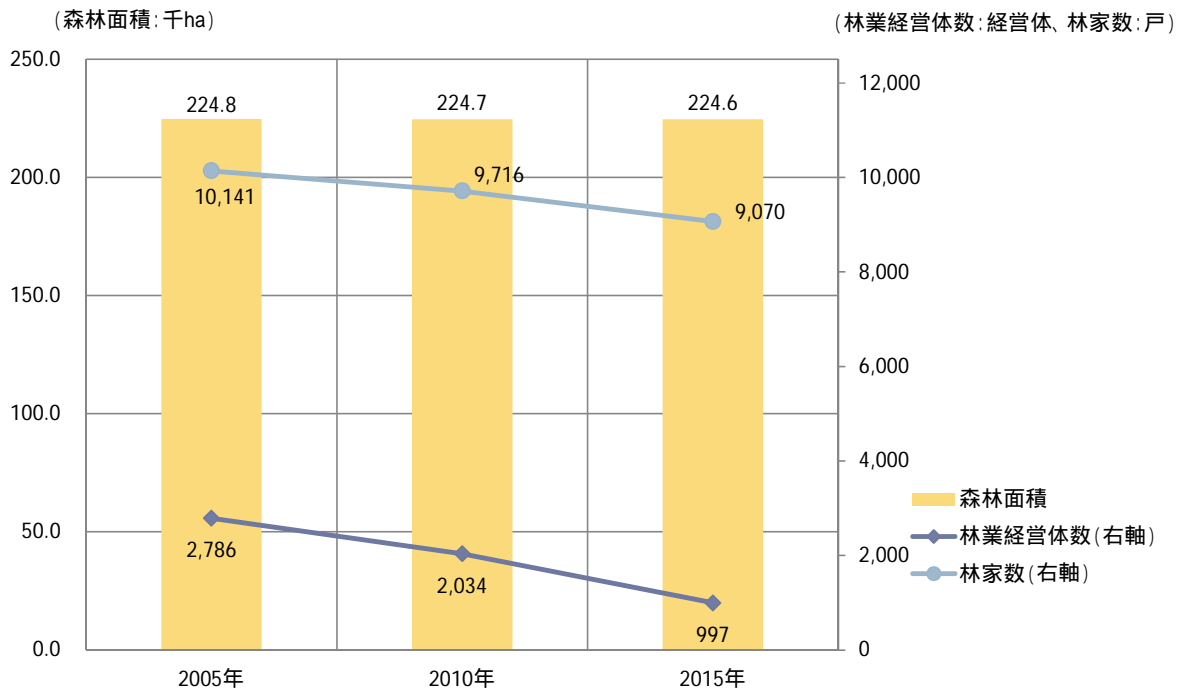
林業

ア 森林面積・林業経営体数・林家数の推移

2005年（平成17年）から2015年（平成27年）までの10年間の推移を見ると、本圏域の林業経営体数、林家数は高齢化や後継者不足などを原因として、減少が続いており、林業経営体数は2,786経営体から997経営体に約64%、林家数については10,141戸から9,070戸に約10%減少している。

林業分野も農業分野と同様、担い手の高齢化、放置される森林の増加等、厳しい環境に置かれていることから、新規就業者の確保及び育成が重要となる。

図表 圏域の森林面積・林業経営体数・林家数の推移



資料：農林水産省「農林業センサス」、福井県「県統計年鑑（林業）」

イ 市町別の森林面積・林業経営体数・林家数

図表 市町別の森林面積・林業経営体数・林家数（2015年）

	森林面積		林業経営体数		林家数	
		(構成比)		(構成比)		(構成比)
福井市	31,908ha	(14.2%)	281経営体	(28.2%)	2,377戸	(26.2%)
大野市	75,838ha	(33.8%)	79経営体	(7.9%)	842戸	(9.3%)
勝山市	20,191ha	(9.0%)	95経営体	(9.6%)	918戸	(10.1%)
鯖江市	3,141ha	(1.4%)	18経営体	(1.8%)	326戸	(3.6%)
あわら市	4,448ha	(2.0%)	38経営体	(3.8%)	311戸	(3.4%)
越前市	14,185ha	(6.3%)	101経営体	(10.1%)	1,094戸	(12.1%)
坂井市	7,363ha	(3.3%)	64経営体	(6.4%)	328戸	(3.6%)
永平寺町	6,868ha	(3.0%)	41経営体	(4.1%)	633戸	(7.0%)
池田町	17,852ha	(7.9%)	44経営体	(4.4%)	392戸	(4.3%)
南越前町	31,458ha	(14.0%)	149経営体	(15.0%)	1,087戸	(12.0%)
越前町	11,382ha	(5.1%)	87経営体	(8.7%)	762戸	(8.4%)
圏域合計	224,634ha	(100.0%)	997経営体	(100.0%)	9,070戸	(100.0%)

資料：農林水産省「農林業センサス」、福井県「県統計年鑑（林業）」

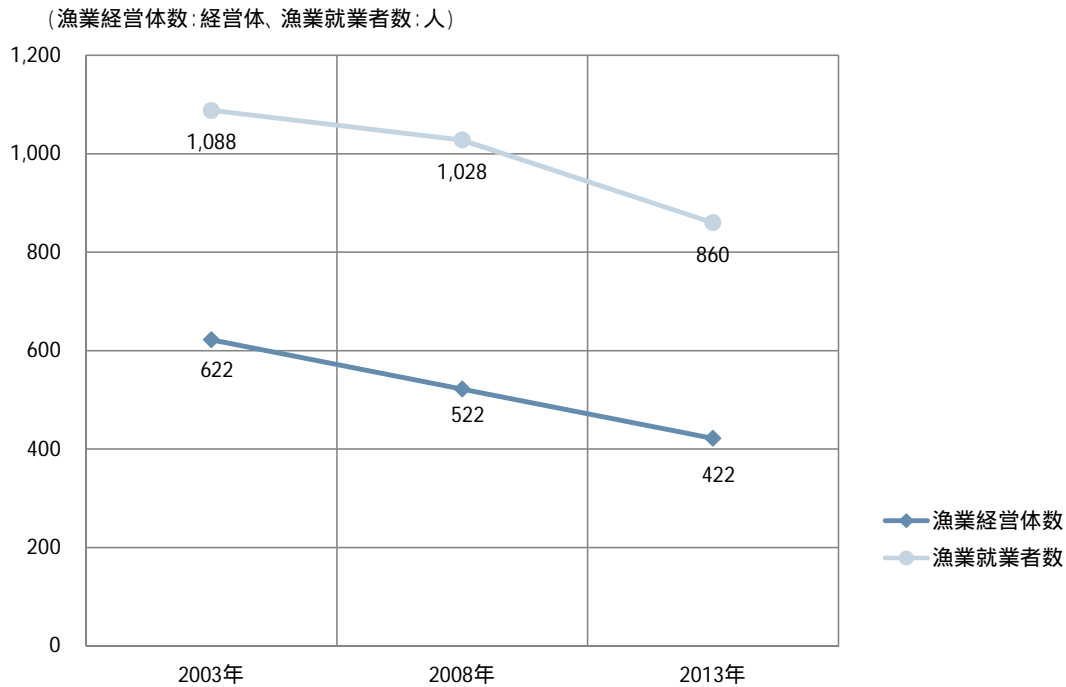
水産業

ア 漁業経営体数・漁業就業者数の推移

2003年（平成15年）から2013年（平成25年）までの10年間の推移を見ると、本圏域の漁業経営体数、漁業就業者数は高齢化や後継者不足などを原因として、減少が続いており、漁業経営体数は622経営体から422経営体に約32%、漁業就業者数については1,088人から860人に約21%減少している。

水産業分野も農業・林業分野と同様、担い手の高齢化、漁業生産額の減少等、厳しい環境に置かれていることから、新規就業者の確保及び育成が重要となる。

図表 圏域の漁業経営体数・漁業就業者数の推移



資料：農林水産省「漁業センサス」

イ 市町別の漁業経営体数・漁業就業者数

図表 市町別の漁業経営体数・漁業就業者数（2013年）

	漁業経営体数		漁業就業者数	
		(構成比)		(構成比)
福井市	77経営体	(18.2%)	123人	(14.3%)
あわら市	29経営体	(6.9%)	56人	(6.5%)
坂井市	127経営体	(30.1%)	226人	(26.3%)
南越前町	49経営体	(11.6%)	85人	(9.9%)
越前町	140経営体	(33.2%)	370人	(43.0%)
圏域合計	422経営体	(100.0%)	860人	(100.0%)

資料：農林水産省「漁業センサス」

(3) 工業・商業の状況

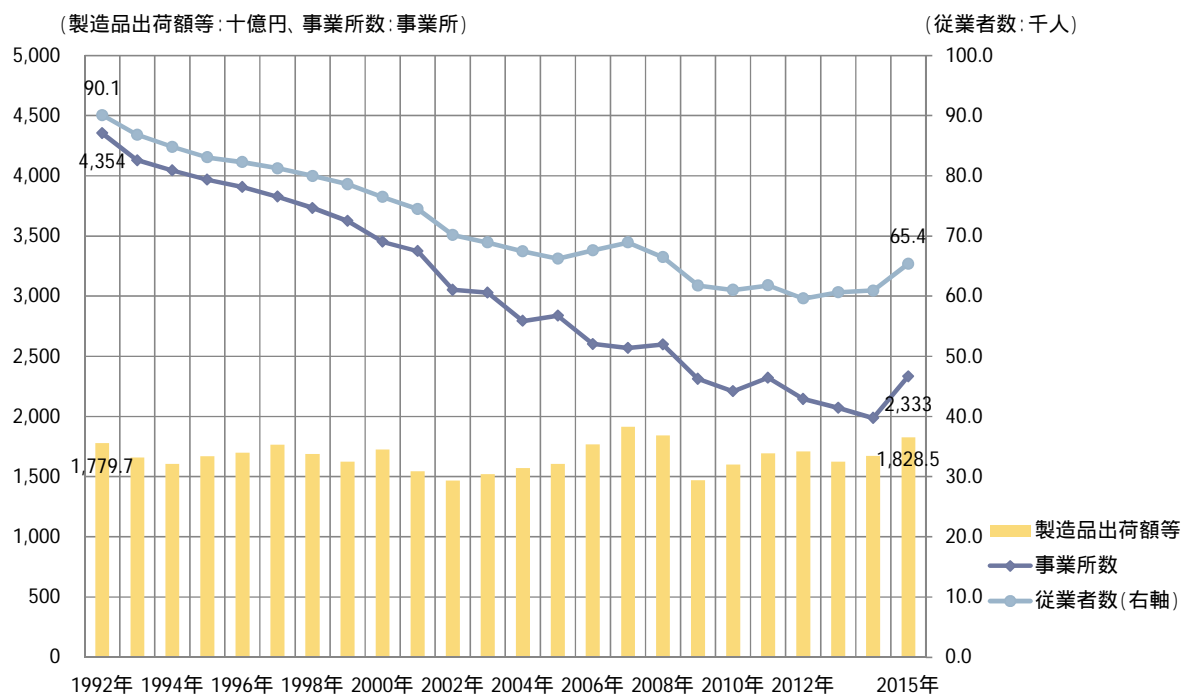
工業

ア 製造業の事業所数・従業者数・製造品出荷額等の推移

1992年(平成4年)から2015年(平成27年)までの23年間の推移を見ると、本圏域の製造品出荷額等は、1.5兆～2.0兆円を維持している。製造業の事業所数、従業者数は減少が続いていたものの、事業所数は2014年(平成26年)の1,987事業所から2015年には2,333事業所に、従業者数については2012年(平成24年)の59,611人から2015年には65,372人に増加するなど、反転の兆しが見える。

製造業の地域構成は、圏域内の製造品出荷額 1.8兆円のうち約70%を福井市、越前市、坂井市で占めている。福井市は繊維・化学、越前市は電子部品・電気機械器具、坂井市は非鉄金属といった製造業の特性を有している。

図表 圏域の製造業の製造品出荷額等・事業所数・従業者数の推移



資料：経済産業省「工業統計調査」、福井県「福井県の工業（経済センサス-活動調査 製造業に関する結果報告書）」

イ 市町別の製造業の製造品出荷額等・事業所数・従業者数

図表 市町別の製造業の製造品出荷額等・事業所数・従業者数（2015年）

	製造品出荷額等		事業所数		従業者数	
		(構成比)		(構成比)		(構成比)
福井市	4,007億円	(21.9%)	736事業所	(31.5%)	18,102人	(27.7%)
大野市	504億円	(2.7%)	105事業所	(4.5%)	2,450人	(3.7%)
勝山市	654億円	(3.6%)	91事業所	(3.9%)	2,451人	(3.8%)
鯖江市	1,626億円	(8.9%)	429事業所	(18.4%)	8,754人	(13.4%)
あわら市	1,957億円	(10.7%)	84事業所	(3.6%)	4,544人	(7.0%)
越前市	5,627億円	(30.8%)	347事業所	(14.9%)	15,524人	(23.7%)
坂井市	3,120億円	(17.1%)	373事業所	(16.0%)	9,907人	(15.2%)
永平寺町	168億円	(0.9%)	55事業所	(2.4%)	998人	(1.5%)
池田町	19億円	(0.1%)	13事業所	(0.6%)	187人	(0.3%)
南越前町	108億円	(0.6%)	22事業所	(0.9%)	528人	(0.8%)
越前町	495億円	(2.7%)	78事業所	(3.3%)	1,927人	(2.9%)
圏域合計	18,285億円	(100.0%)	2,333事業所	(100.0%)	65,372人	(100.0%)

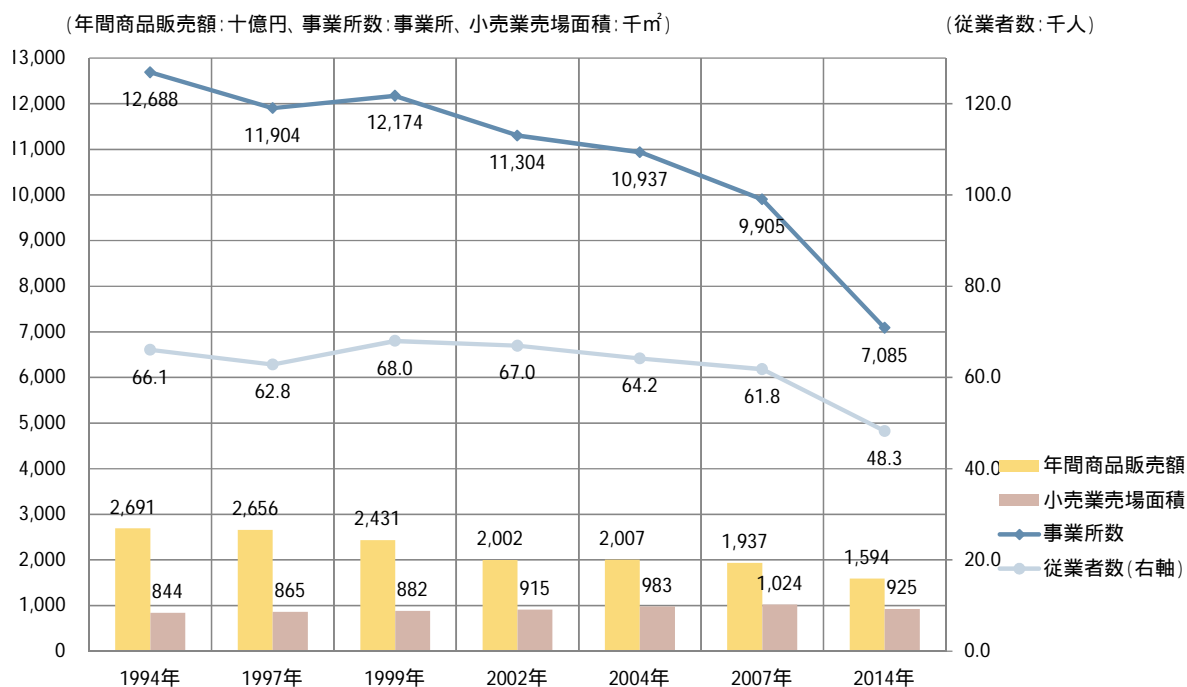
資料：経済産業省「工業統計調査」、福井県「福井県の工業（経済センサス-活動調査 製造業に関する結果報告書）」

商業

ア 卸売・小売業の年間商品販売額・事業所数・従業者数及び小売業売場面積の推移

1994年（平成6年）から2014年（平成26年）までの20年間の推移を見ると、本圏域の小売業売場面積は、900千㎡前後を維持している。しかし、それ以外の項目は減少しており、年間商品販売額は2兆6,911億円から1兆5,938億円に約41%、事業所数は12,688事業所から7,085事業所に約44%、従業者数については66,075人から48,267人に約27%減少している。

図表 圏域の卸売・小売業の年間商品販売額・事業所数・従業者数及び小売業売場面積の推移



資料：経済産業省「商業統計調査」

イ 市町別の卸売・小売業の年間商品販売額・事業所数・従業者数及び小売業売場面積

図表 市町別の卸売・小売業の年間商品販売額・事業所数・従業者数及び小売業売場面積（2014年）

	年間商品販売額		事業所数		従業者数		小売業売場面積	
		(構成比)		(構成比)		(構成比)		(構成比)
福井市	11,261億円	(70.7%)	3,381事業所	(47.7%)	26,727人	(55.4%)	442.8千㎡	(47.8%)
大野市	388億円	(2.4%)	360事業所	(5.1%)	1,744人	(3.6%)	51.9千㎡	(5.6%)
勝山市	223億円	(1.4%)	243事業所	(3.4%)	1,103人	(2.3%)	25.6千㎡	(2.8%)
鯖江市	949億円	(6.0%)	657事業所	(9.3%)	4,466人	(9.2%)	81.1千㎡	(8.7%)
あわら市	261億円	(1.6%)	254事業所	(3.6%)	1,352人	(2.8%)	27.6千㎡	(3.0%)
越前市	1,303億円	(8.2%)	972事業所	(13.7%)	5,542人	(11.5%)	127.5千㎡	(13.8%)
坂井市	1,161億円	(7.3%)	736事業所	(10.4%)	5,031人	(10.4%)	115.4千㎡	(12.5%)
永平寺町	146億円	(0.9%)	152事業所	(2.1%)	774人	(1.6%)	14.4千㎡	(1.6%)
池田町	7億円	(0.0%)	25事業所	(0.4%)	90人	(0.2%)	0.6千㎡	(0.1%)
南越前町	66億円	(0.4%)	84事業所	(1.2%)	377人	(0.8%)	6.9千㎡	(0.7%)
越前町	173億円	(1.1%)	221事業所	(3.1%)	1,061人	(2.2%)	31.5千㎡	(3.4%)
圏域合計	15,938億円	(100.0%)	7,085事業所	(100.0%)	48,267人	(100.0%)	925.3千㎡	(100.0%)

資料：経済産業省「商業統計調査」

3 観光・文化

(1) 観光客入込数

観光客入込数・宿泊者割合の推移

本圏域における直近の3年間の観光客入込数は、増加が続いている。

特に、2015年（平成27年）は前年に対して17.4%増となり、大幅に増加した。県外からの観光客が対前年比30.8%の増と、県内客の伸び率（+5.6%）を大きく上回った。

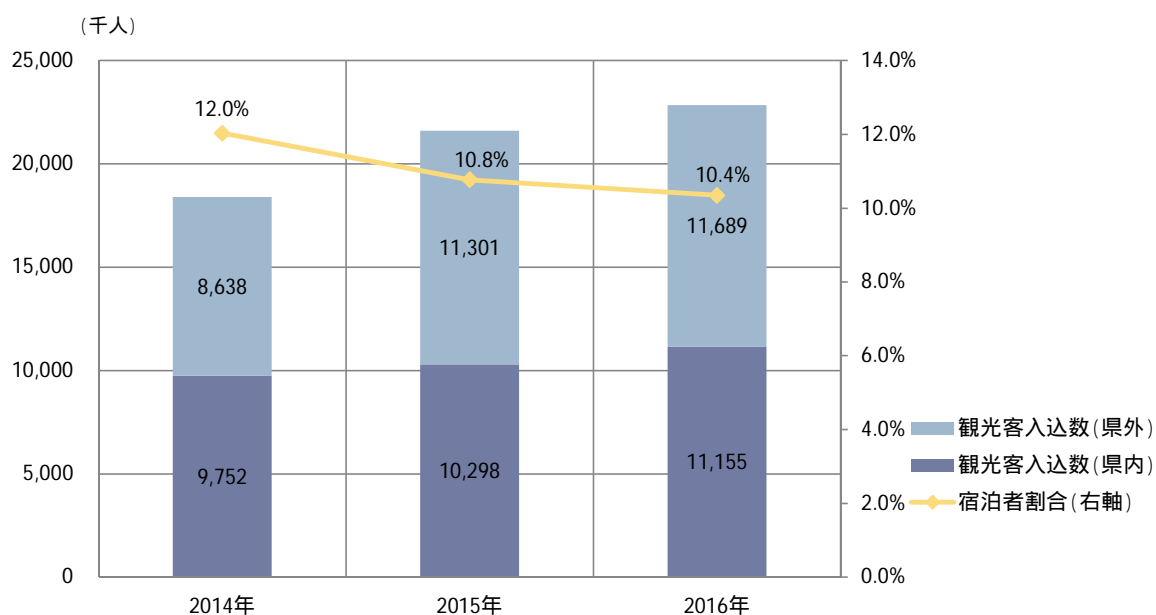
これは、北陸新幹線の金沢開業や中部縦貫自動車道の北陸自動車道との接続等により、交通利便性が向上したことに加え、首都圏における集中的なプロモーションや北陸デスティネーションキャンペーンの実施等により、北陸の注目度が高まったことなどによる効果と考えられる。

2016年（平成28年）は、総数は増加しているものの、伸び率としては前年に比べ緩やかになっている。

宿泊者数についても、この3年間は増加している。しかしながら、観光客数に対する宿泊者割合は減少しており、圏域における観光の形態としては、通過型観光が主になっているといえる。

滞在時間が短いと観光消費額が伸びず、地域経済活性への効果が限定的になるため、圏域の観光資源の魅力向上に加え、JRの主要駅から観光地への二次交通の充実や観光地同士を結ぶストーリー性のある観光ルートの提案、宿泊の促進などにより、周遊滞在型観光への転換の推進が求められる。

図表 圏域の観光客入込数・宿泊者割合の推移（延べ人数）



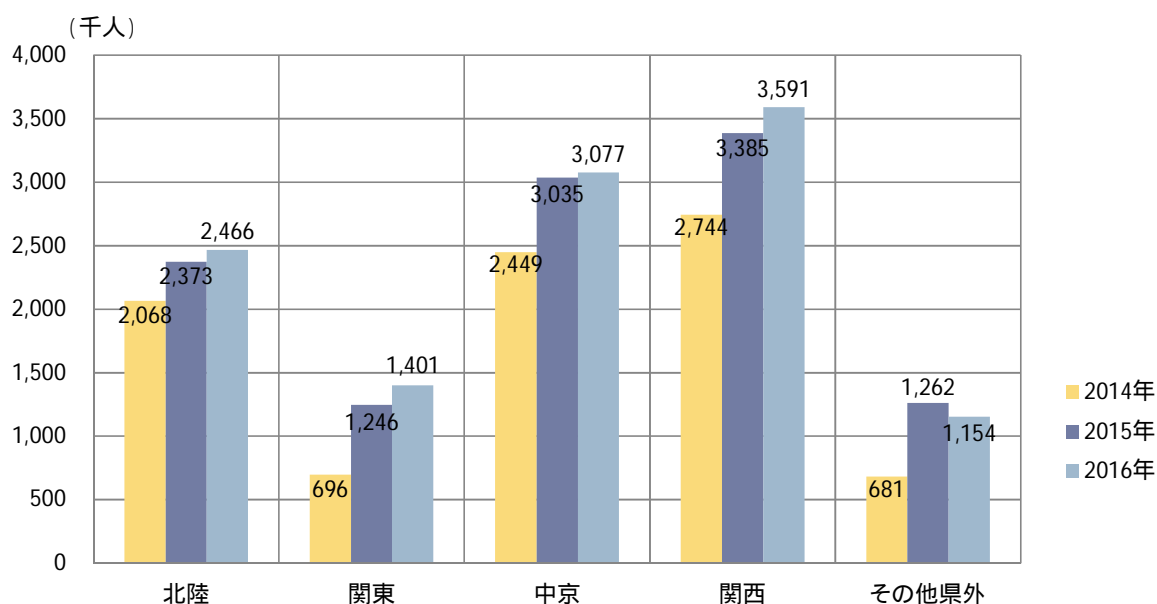
資料：各市町観光統計

発地別観光客入込数の推移

本圏域における発地別観光客入込数の推移を見ると、北陸新幹線金沢開業等の効果もあり、「関東」と「その他県外」からの観光客数において、2015年（平成27年）の対前年比の伸び率が顕著であるが、総数では「関西」や「中京」からの観光客が多くなっている。

今後、北陸新幹線の金沢～敦賀間の開業を見据えた関東圏への観光誘客を推進するとともに、以前からつながりが深い関西圏、中京圏に向けてのプロモーションを強化する必要がある。

図表 圏域の発地別観光客入込数の推移（延べ人数）



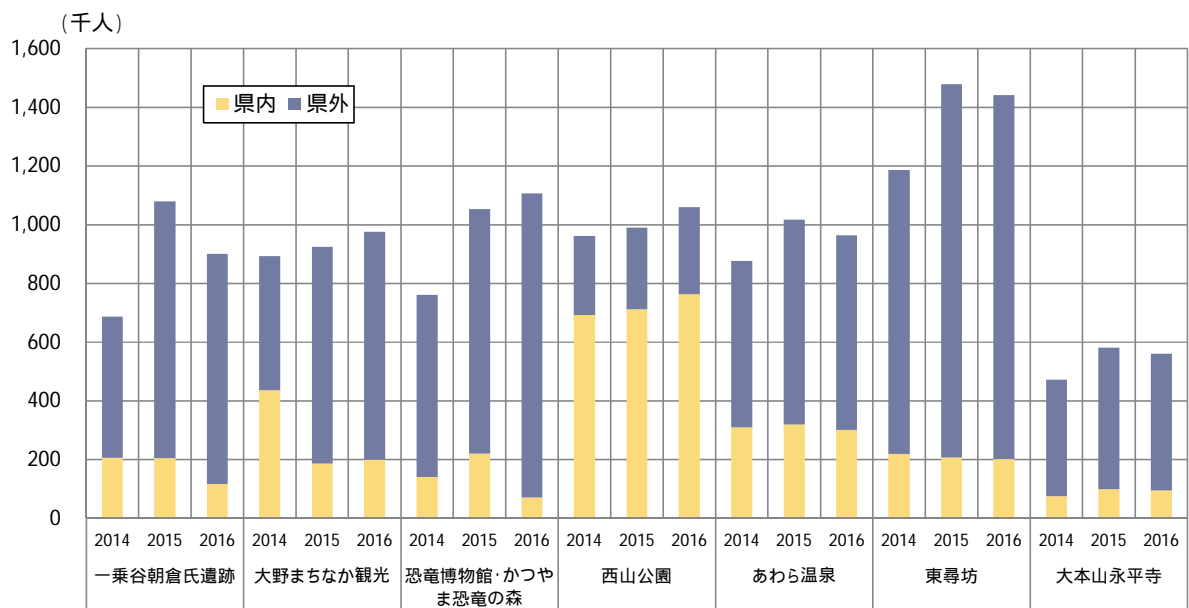
資料：各市町観光統計

(2) 主要観光地別観光客数の推移

本圏域における主要観光地別の観光客数推移を見ると、100万人以上の入込数がある観光地は、2014年（平成26年）には、東尋坊（坂井市）のみであったが、北陸新幹線金沢開業等の効果による県外からの観光客の増加を受けて、2015年（平成27年）には、東尋坊、一乗谷朝倉氏遺跡（福井市）、恐竜博物館・かつやま恐竜の森（勝山市）、あわら温泉（あわら市）の4箇所となった。

2016年（平成28年）には西山公園（鯖江市）が5年ぶりに100万人を超えた。

図表 主要観光地別観光客数の推移（延べ人数）



資料：福井県「福井県観光客入込数」

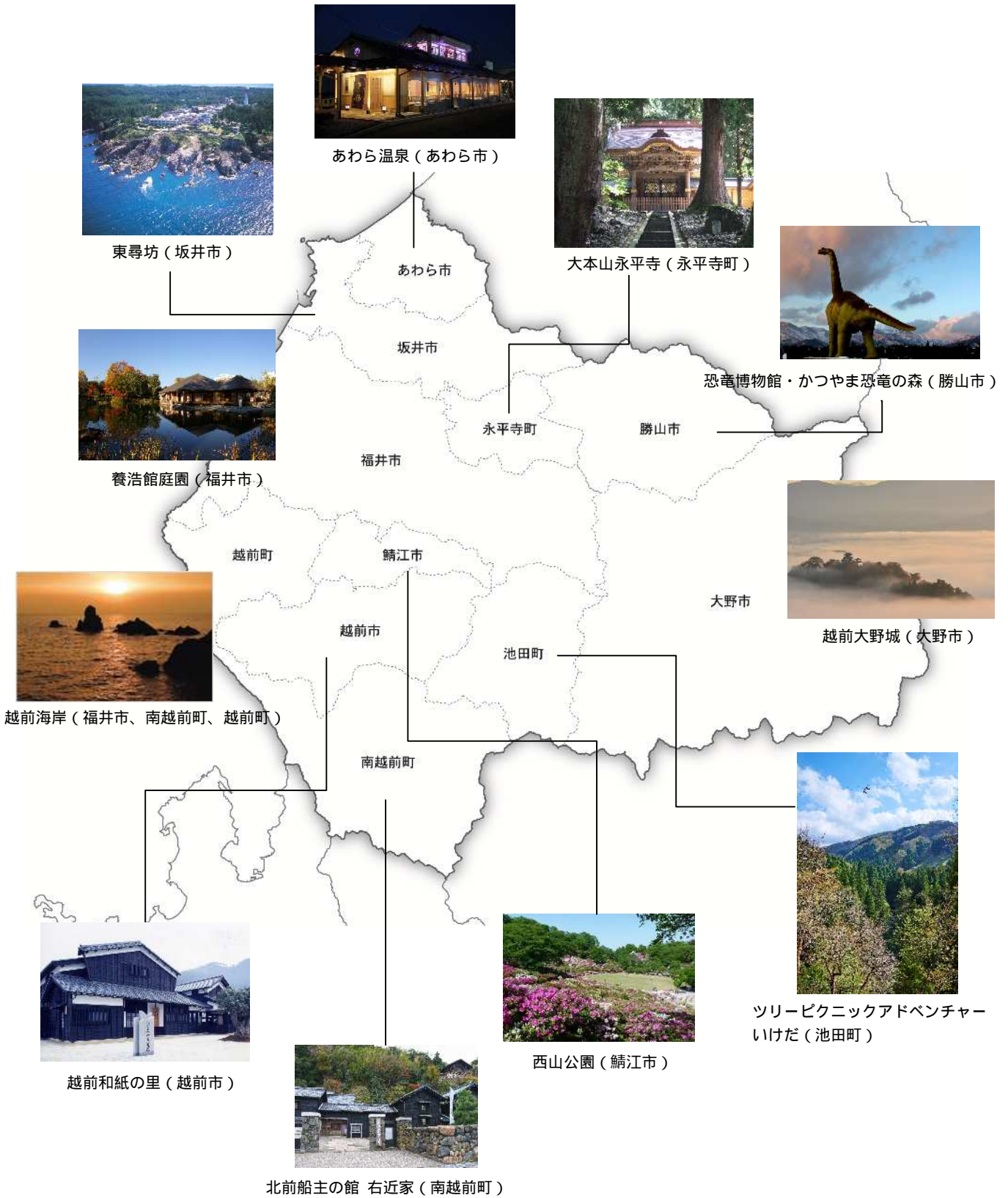
(3) 観光名所・文化財

図表 圏域の主な観光名所・文化財の数・主な文化財

市町名	主な観光名所	文化財の数	主な文化財
福井市	一乗谷朝倉氏遺跡、道の駅「一乗谷あさくら水の駅」、足羽山公園、足羽川桜並木、グリフィス記念館、北の庄城址・柴田公園、養浩館庭園、福井城址、セーレンプラネット、宮ノ下コスモス広苑、越前海岸、ガラガラ山越前水仙の里キャンプ場	有形文化財 119 無形文化財 0 民俗文化財 11 記念物 49 文化的景観 1	一乗谷朝倉氏庭園、大安寺(本堂・庫裏・開山堂・開基堂・鐘楼)(附山門・宝蔵・堀中門・廂所(千畳敷))、睦月神事、糸崎の仏舞
大野市	越前大野城、大野まちなか観光、平成大野屋、七間朝市、武家屋敷旧内山家、武家屋敷旧田村家、九頭竜峡、九頭竜湖、道の駅「九頭竜」、平成の湯、荒島岳、宝慶寺、亀山、御清水、刈込池、鳩ヶ湯、仏御前の滝、麻那姫湖青少年旅行村、六呂師高原、六呂師高原スキーパーク、九頭竜スキー場、福井和泉スキー場、和泉前坂家族旅行村、大野市化石発掘体験センター「HOROSSA!」	有形文化財 103 無形文化財 0 民俗文化財 6 記念物 27	旧橋本家住宅、越前大野城跡、本願清水イトヨ生息地
勝山市	恐竜博物館・かつやま恐竜の森、勝山城博物館、越前大仏清大寺、平泉寺白山神社、はたや記念館ゆめおーれ勝山、スキージャム勝山、雁が原スキー場	有形文化財 48 無形文化財 0 民俗文化財 10 記念物 23	旧木下家住宅(附普請関係文書)、白山平泉寺旧境内、勝山左義長、アラレガコ生息地、勝山恐竜化石群及び産地
鯖江市	西山公園、道の駅「西山公園」、めがねミュージアム、うるしの里会館、ラポーゼかわだ	有形文化財 140 無形文化財 2 民俗文化財 19 記念物 39	旧瓜生家住宅、木造追儺面(父鬼・子鬼)(附木造追儺面(母鬼))、王山古墳群
あわら市	あわら温泉、きららの丘、芦湯、金津創作の森、北潟湖畔、セントピアあわら、吉崎御坊跡、屋台村湯けむり横丁、波松海岸	有形文化財 45 無形文化財 0 民俗文化財 2 記念物 25	本荘春日神社本殿、絹本着色 法然上人圖像、吉崎御坊跡
越前市	紫式部公園、越前そばの里、しきぶ温泉湯楽里、味真野苑・万葉館、越前和紙の里、武生中央公園(だるまちゃん広場)、御誕生寺、かこさとしふるさと絵本館、ちひろの生まれた家記念館	有形文化財 192 無形文化財 4 民俗文化財 10 記念物 27	大滝神社本殿及び拝殿、越前奉書、城福寺庭園
坂井市	東尋坊、越前松島水族館、三国温泉ゆあぼーと、三国湊町散策、道の駅「みくに」、ふれあいパーク三里浜、芝政ワールド、丸岡城、福井県総合グリーンセンター、福井県児童科学館、花の駅ゆりの里公園、地域交流センターいねす、道の駅「さかい」	有形文化財 67 無形文化財 0 民俗文化財 13 記念物 32	丸岡城天守、東尋坊、瀧谷寺本堂・観音堂・庫裏及び方丈・開山堂・山門・鎮守堂、瀧谷寺庭園、坪川家住宅、六呂瀬山古墳群、金銅毛彫宝相華唐草文髹
永平寺町	大本山永平寺、永平寺温泉「禅の里」、道の駅「禅の里」、永平寺町魅力発信交流施設 えい坊館	有形文化財 39 無形文化財 0 民俗文化財 0 記念物 14	絹本着色 仏涅槃図、普勸坐禅儀 附 普勸坐禅儀撰述記、松岡古墳群(手線ヶ城山古墳、鳥越山古墳)
池田町	こってコテいけだ、ツリービクニックアドベンチャーいけだ、かずら橋、龍双ヶ滝	有形文化財 29 無形文化財 0 民俗文化財 3 記念物 22	須波阿須疑神社本殿、水海の田楽能舞、稲荷の大スギ、堀口家住宅
南越前町	花はず公園、今庄宿、板取宿、北前船主の館 右近家、今庄365スキー場、南越前ダイビングパーク	有形文化財 83 無形文化財 1 民俗文化財 7 記念物 24	杣山城跡、伊藤氏庭園、中村家住宅
越前町	福井総合植物園「プラントピア」、越知山、越前陶芸村、越前海岸、道の駅「越前」、越前岬水仙ランド、劔神社、悠久ロマンの杜	有形文化財 43 無形文化財 1 民俗文化財 6 記念物 83	大谷寺九重塔、絹本着色八相涅槃図(附紙本墨書 涅槃講式(断簡)1巻)、梵鐘

資料：福井県ホームページ、各市町ホームページ等

図表 圏域の主な観光名所



4 交通

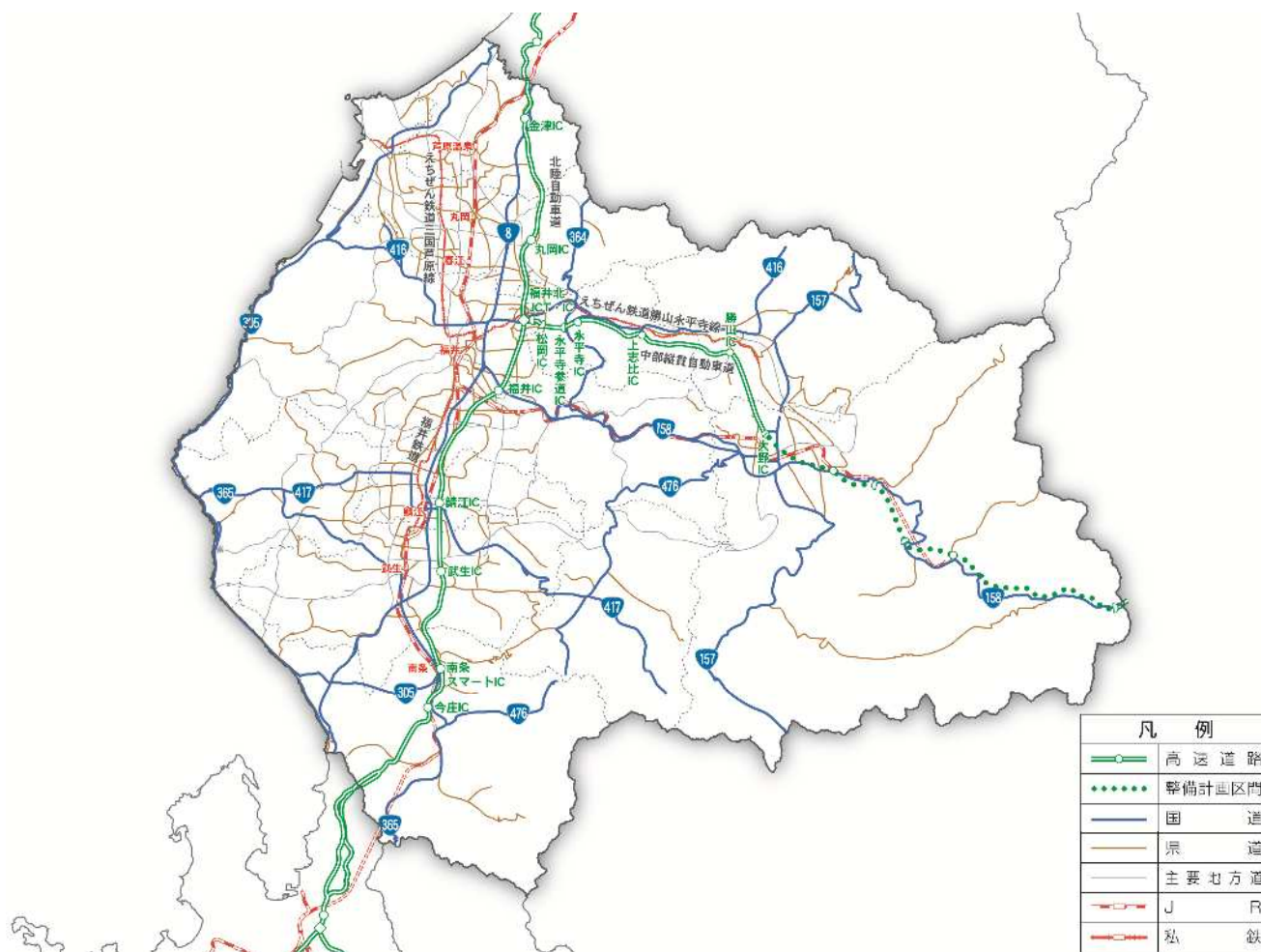
(1) 道路・鉄道交通網の状況

道路網については、北陸圏と近畿圏（新潟市～京都市間）を結ぶ国道8号、北陸圏と中部圏（福井市～松本市間）を結ぶ国道158号のほか、主要地方道等が縦横に走っている。また、本圏域においては、南北を北陸自動車道が縦断しており、東西には、福井市と中部・関東圏を最短で結び松本市に至る中部縦貫自動車道の整備が進められている。

鉄道については、本圏域の中央をJR北陸本線が縦貫し、福井駅を起点としてJR越美北線が東方に走り、越前市から福井市を福井鉄道が、坂井市から福井市、勝山市から福井市をえちぜん鉄道が走り、圏域の南北と東西を結んでいる。

さらに、平成34年度には北陸新幹線の金沢～敦賀間の開業が控えている。

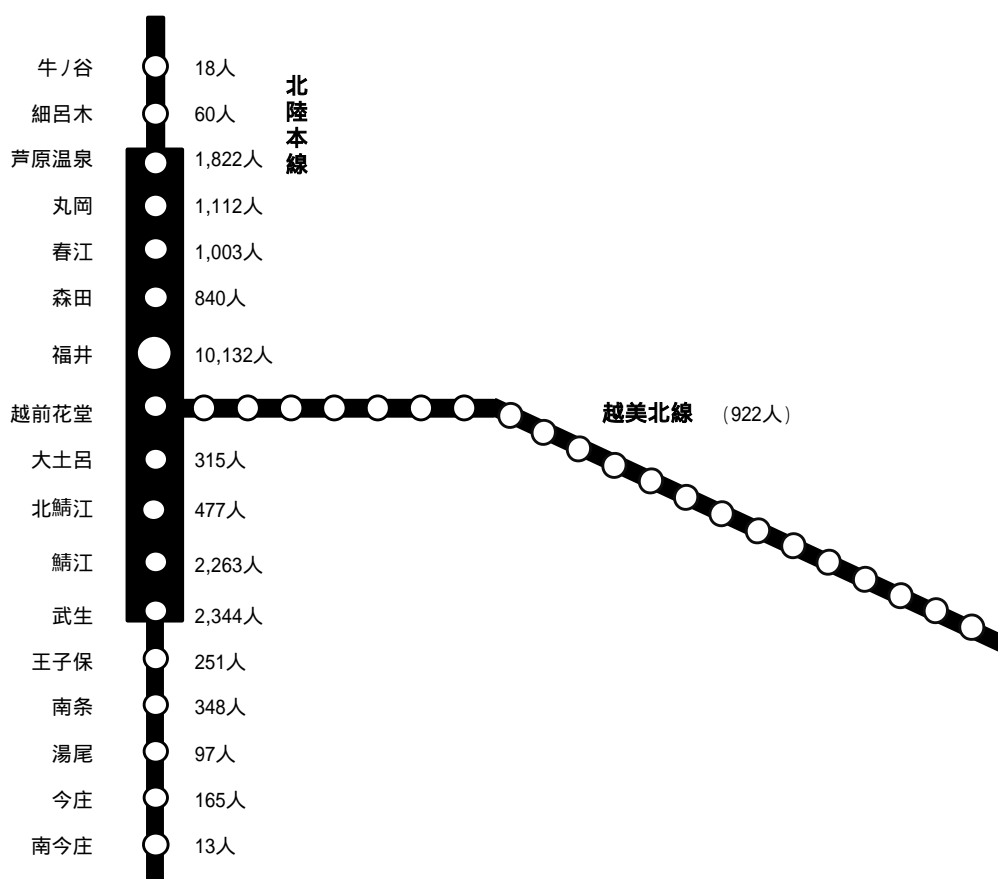
図表 圏域の道路・交通網の状況



鉄道

本圏域における鉄道事業者は、西日本旅客鉄道(株) (JR西日本) とえちぜん鉄道(株)、福井鉄道(株)の3社であり、重要な広域交通手段となっている。鉄道の利用状況については、JRの福井駅～芦原温泉駅(あわら市)間や福井駅～武生駅(越前市)間の通勤・通学に伴う利用者数が多い。

図表 圏域のJRの鉄道ネットワークと駅別1日平均乗車人員数(2016年)



資料：福井県「県統計年鑑(交通・通信)」

図表 圏域の交通機関別1日平均乗車人員数(2016年)

えちぜん鉄道		福井鉄道	
勝山永平寺線	3,826人	福武線	5,550人
三国芦原線	5,924人		

資料：福井県「県統計年鑑(交通・通信)」

バス

本圏域における路線バスは、京福バス(株)と福井鉄道(株)の2社により運営されており、鉄道路線と並び都市間交通の重要な役割を担っている。

図表 圏域のバス路線網の状況

京福バス	福井市中心部	幾久・新田塚線、赤十字みのり線 ほか34路線
	坂井市・あわら市・永平寺町	丸岡永平寺線、竹田線 ほか24路線
	福井駅～福井市内北西部・三国・鮎川方面	越前海岸ブルーライン、川西三国線 ほか4路線
	福井駅～福井市内北部・春江・丸岡方面	二の宮春江線、丸岡線 ほか4路線
	福井駅～福井市内北東部・丸岡・松岡方面	大学病院線、大和田エコライン ほか9路線
	福井駅～福井市内南西部・清水・越廼・越前町方面	清水グリーンライン、茱崎線 ほか3路線
	福井駅～福井市内南東部・美山・池田町・大野市・一乗谷方面	大野線、一乗谷東郷線 ほか7路線
	大野市・勝山市方面	勝山大野線、大矢戸線
福鉄バス	福井市南部地区	清明循環線、麻生津循環線
	福井～越前海岸方面	福浦線
	鯖江～越前海岸方面	鯖浦線
	武生～越前海岸方面	武生越前海岸線
	武生～今立・池田・味真野・鯖江方面	南越線、池田線
	武生～白山・河野海岸方面	白山線、王子保・河野海岸線
	武生～池田・入谷・横住方面	池田線、入谷線

資料：各社ホームページ

(2) 交通インフラの状況

図表 圏域の駅・長距離バス路線・インターチェンジ・道の駅

都市機能		施設名		
駅	JR北陸本線	福井市	大土呂駅、越前花堂駅、福井駅、森田駅	
		鯖江市	鯖江駅、北鯖江駅	
		あわら市	芦原温泉駅、細呂木駅、牛ノ谷駅	
		越前市	王子保駅、武生駅	
		坂井市	春江駅、丸岡駅	
		南越前町	南今庄駅、今庄駅、湯尾駅、南条駅	
	JR越美北線	福井市	越前花堂駅、六条駅、足羽駅、越前東郷駅、一乗谷駅、越前高田駅、市波駅、小和清水駅、美山駅、越前薬師駅、越前大宮駅、計石駅	
		大野市	牛ヶ原駅、北大野駅、越前大野駅、越前田野駅、越前富田駅、下唯野駅、柿ヶ島駅、勝原駅、越前下山駅、九頭竜湖駅	
	JR貨物	福井市	南福井駅	
	えちぜん鉄道 勝山永平寺線	福井市	福井駅、新福井駅、福井口駅、越前開発駅、越前新保駅、追分口駅、東藤島駅、越前島橋駅	
		勝山市	保田駅、発坂駅、比島駅、勝山駅	
		永平寺町	観音町駅、松岡駅、志比堺駅、永平寺口駅、下志比駅、光明寺駅、轟駅、越前野中駅、山王駅、越前竹原駅、小舟渡駅	
	えちぜん鉄道 三国芦原線	福井市	福井駅、新福井駅、福井口駅、まつもと町屋駅、西別院駅、田原町駅、福大前西福井駅、日華化学前駅、ハツ島駅、新田塚駅、中角駅、鷺塚針原駅	
		あわら市	本荘駅、番田駅、あわら湯のまち駅	
		坂井市	太郎丸エンゼルランド駅、西春江ハートピア駅、西長田ゆりの里駅、下兵庫こうぶく駅、大関駅、水居駅、三国神社駅、三国駅、三国港駅	
	福井鉄道 福武線	福井市	三十八社駅、泰澄の里駅、浅水駅、ハーモニーホール駅、清明駅、江端駅、ベル前駅、花堂駅、赤十字前駅、商工会議所前電停、足羽山公園口電停、福井城址大名町電停、福井駅電停、仁愛女子高校電停、田原町駅	
		鯖江市	サンドーム西駅、西鯖江駅、西山公園駅、水落駅、神明駅、鳥羽中駅	
		越前市	越前武生駅、北府駅、スポーツ公園駅、家久駅	
	長距離バス 路線	県外		福井 東京、福井 名古屋、福井 (京都深草) 大阪、福井 小松空港
	インターチェンジ	福井市	福井IC	
		大野市	大野IC	
勝山市		勝山IC		
鯖江市		鯖江IC		
あわら市		金津IC		
越前市		武生IC		
坂井市		丸岡IC		
永平寺町		福井北JCT・IC、松岡IC、永平寺参道IC、永平寺IC、上志比IC		
南越前町		今庄IC、南条スマートIC		
道の駅	福井市	一乗谷あさくら水の駅		
	大野市	九頭竜、(仮称)結の故郷 平成33年度早期供用開始予定		
	勝山市	(仮称)恐竜溪谷ジオパーク 平成32年度供用開始予定		
	鯖江市	西山公園		
	坂井市	さかい、みくに		
	永平寺町	禅の里		
	南越前町	河野		
	越前町	越前、パークイン丹生ヶ丘		

資料：各社ホームページ

5 教育

(1) 高等教育機関等

図表 圏域の大学・大学院・短期大学・高等専門学校・専修学校

都市機能	施設名	
大学	福井市	福井大学、福井工業大学、福井医療大学
	越前市	仁愛大学
	永平寺町	福井県立大学
大学院	福井市	福井大学大学院、福井工業大学大学院
	越前市	仁愛大学大学院
	永平寺町	福井県立大学大学院
短期大学	福井市	仁愛女子短期大学
高等専門学校	鯖江市	福井工業高等専門学校
専修学校	福井市	専門学校デザイン・ラボ フクイ、福井歯科専門学校、専門学校福井文化服装学院、大原キャリアビジネス&ペット専門学校、大原簿記法律専門学校福井校、大原テクノデザインアート専門学校、大原スポーツ医療保育福祉専門学校、福井県医療福祉専門学校、福井県立看護専門学校、福井市医師会看護専門学校、福井製菓専門学校、福井公務員専門学校
	越前市	武生看護専門学校
	坂井市	国際ペット専門学校福井
	永平寺町	福井県理容美容専門学校、天谷調理製菓専門学校

資料：文部科学省ホームページ、福井県ホームページ、各大学ホームページ

(2) 文化施設等

図表 圏域の公立図書館・博物館等・文化施設

都市機能	施設名
公立図書館	福井市 福井県立図書館、福井市立図書館、みどり図書館、桜木図書館、美山図書館、清水図書館
	大野市 大野市図書館
	勝山市 勝山市立図書館
	鯖江市 鯖江市図書館「文化の館」、えきライブラリーtetote
	あわら市 金津図書館、芦原図書館
	越前市 越前市中央図書館、越前市今立図書館
	坂井市 坂井図書館、春江図書館、丸岡図書館、三国図書館
	永平寺町 永平寺町立図書館、町立図書館永平寺館、町立図書館上志比館
	池田町 池田町立図書館
	南越前町 南条図書館、今庄図書館、河野図書館
	越前町 越前町立図書館、宮崎分館、越前分館、織田分館
博物館等	福井市 福井県立歴史博物館、福井県立子ども歴史文化館、福井県立一乗谷朝倉氏遺跡資料館、福井県ふるさと文学館、福井県立美術館、福井市美術館、福井市立郷土歴史博物館、福井市文化財保護センター、福井市治水記念館、福井市水道記念館、福井市おさごえ民家園、グリフィス記念館、福井市自然史博物館、セーレンプラネット(自然史博物館分館)、福井市愛宕坂茶道美術館、福井市橘曙覧記念文学館、水仙の里公園 水仙ドーム、越廼ふるさと資料館
	大野市 大野市歴史博物館、大野市民俗資料館、笛資料館、和泉郷土資料館、本願清水イトヨの里、越前大野城、武家屋敷旧内山家、武家屋敷旧田村家、福井県自然保護センター、大野市文化芸術交流施設「COCONOアートプレイス」
	勝山市 福井県立恐竜博物館、勝山城博物館、白山平泉寺歴史探遊館まほろば、はたや記念館ゆめおーれ勝山
	鯖江市 越前漆器伝統産業会館、めがねミュージアム、まなべの館
	あわら市 金津創作の森、あわら市郷土歴史資料館、藤野巖九郎記念館
	越前市 越前和紙の里 卯立の工芸館、紙の文化博物館、万葉館、ちひろの生まれた家記念館、武生公会堂記念館
	坂井市 福井県児童科学館「エンゼルランドふくい」、福井県教育博物館、越前竹人形の里、みくに龍翔館、丸岡城、一筆啓上 日本一短い手紙の館、福井県総合グリーンセンター、丸岡歴史民俗資料館
	永平寺町 永平寺緑の村四季の森文化館
	池田町 能楽の里歴史館、能面美術館
	南越前町 南条ふるさと資料館「国華」、河野歴史資料館、河野天文学習館、北前船主の館 右近家
越前町 福井県陶芸館、越前古窯博物館、福井総合植物園「プラントピア」、越前がにミュージアム、雨田光平記念館、織田文化歴史館	
文化施設	福井市 福井県国際交流会館、福井県県民ホール、福井市木ごころ文化ホール、福井市文化会館、福井県生活学習館「ユー・アイふくい」、ハピリンホール、福井市きらら館、フェニックス・プラザ、福井県立音楽堂「ハーモニーホールふくい」、福井まちなか文化施設「響のホール」
	大野市 大野市文化会館、多田記念大野有終会館、学びの里「めいりん」、和泉ふれあい会館
	勝山市 勝山市民会館
	鯖江市 鯖江市文化センター、嚮陽会館
	あわら市 あわら市文化会館
	越前市 サンドーム福井、越前市文化センター、いまだて芸術館、かこさとし ふるさと絵本館「石石(らく)」
	坂井市 ハートピア春江、みくに未来ホール
	永平寺町 上志比文化会館サンサンホール
	池田町 能楽の里文化交流会館
	南越前町 南条文化会館
越前町 越前陶芸村文化交流会館、朝日多目的ホール「カメリアホール」	

資料：各市町ホームページ

(3) スポーツ施設

図表 圏域の運動広場・体育館・水泳プール・柔剣道場・弓道場ほか

都市機能	施設名	
運動広場	福 井 市	福井運動公園、スポーツ公園、幾久公園、ふくい健康の森、藤岡サッカー場、美山アンデパンダン広場、きららパーク、西公園テニスコート、わかばテニスコート、美山庭球場「ウイック」、川西テニスコート、開発グラウンド、町屋グラウンド、米松グラウンド、大島グラウンド、成和グラウンド、ジュニアグラウンド、高木中央グラウンド、西藤グラウンド、和田グラウンド、江尻グラウンド、山奥グラウンド、宮ノ下グラウンド、越廼グラウンド、東公園グラウンド
	大 野 市	真名川憩いの島、大野市DAINOUSポーツランド、大野市エキサイト広場総合体育施設、南六呂師サン・スポーツランド、奥越ふれあい公園
	勝 山 市	長山公園グラウンド、弁天緑地公園グラウンド、あさひ公園グラウンド、市営庭球場
	鯖 江 市	西山公園野球場、南公園グラウンド、御幸公園グラウンド、西公園グラウンド、中山公園グラウンド、丸山公園多目的広場、西番スポーツセンター、神中公園テニスコート、中山公園テニスコート、東公園ゲートボール場、ゲートボールセンター、東公園陸上競技場
	あわら市	あわら市本荘ゲートボール場、トリムパークかなづ、ゆうゆうパークあわら内多目的グラウンド、柿原グラウンド、国影グラウンド、湯のまちグラウンド、農業者トレーニングセンター
	越 前 市	今立テニスコート、今立中央公園多目的広場、家久スポーツ公園、武生中央公園、武生東運動公園、丹南総合公園、武生特殊鋼材ドリームサッカー場
	坂 井 市	テクノポート福井総合公園、三国運動公園、丸岡スポーツランド、丸岡ゲートボール場、三国グラウンド、丸岡運動公園、丸岡情報団地公園テニスコート、鳴鹿テニス場、春江テニス場、春江北グラウンド、江留上公園グラウンド、春江東グラウンド、坂井グラウンド、東十郷中央公園
	永平寺町	松岡総合運動公園、永平寺緑の村運動広場、上志比グラウンド、松岡庭球場
	池 田 町	わいわいドーム、町民グラウンド、下地区グラウンド、菅生山村広場
	南越前町	南条農村総合運動公園、南条活性化施設ホノケ多目的広場、レインボーパーク南条、スポーツパーク476、今庄山村広場、桜橋総合運動公園、ふれあいシーサイドパーク、南条グラウンド、今庄グラウンド、柚山テニス場、今庄テニスコート
	越 前 町	町営球技場、町営朝日総合運動場、越前陶芸村スポーツ広場、宮崎総合運動場、町営アクティブランド運動場、織田中央公園多目的広場、織田中央公園テニスコート、織田中央公園ゲートボール場
	体育館	福 井 市
大 野 市		大野市和泉体育施設、大野市B&G海洋センター、大野市エキサイト広場総合体育施設、大野市教育センター、富田公民館体育館、下庄公民館体育館
勝 山 市		林業者健康トレーニングセンター、勝山市B & G海洋センター、勝山市体育館ジオアリーナ、勤労青少年体育センター
鯖 江 市		鯖江市総合体育館、スポーツ交流館、神明健康スポーツセンター、立待体育館
あわら市		あわら市金津B&G海洋センター体育館、トリムパークかなづ体育館、農業者トレーニングセンター体育館
越 前 市		越前市AW - I スポーツアリーナ、今立体育センター、粟田部体育館、瓜生水と緑公園体育館
坂 井 市		三国体育館、丸岡今福体育館、丸岡体育館、丸岡屋内球技練習場、春江体育館、坂井体育館、丸岡フィットネスセンター、坂井屋内スポーツセンター、坂井市春江B & G海洋センター
永平寺町		永平寺町松岡B & G海洋センター、永平寺緑の村ふれあいセンター
池 田 町		池田町民体育館、農業de合宿キャンプセンター体育館、池田町立公民館水海分館
南越前町		南条勤労者体育センター、南条活性化施設ホノケ活性化センター、鹿蒜地区屋内体育館、堺地区屋内体育館、宅良地区屋内体育館、桜橋体育館
越 前 町		朝日B & G海洋センター、町営糸生体育館、町営越前体育館、町営アクティブランド体育館、町営織田勤労者体育館

都市機能	施設名	
水泳プール	福 井 市	福井運動公園、東山健康運動公園、美山B&G海洋センター、ふくい健康の森
	大 野 市	大野市B&G海洋センター、大野市健康保養施設あっ宝んど、学びの里「めいりん」
	勝 山 市	勝山市営温水プール
	鯖 江 市	鯖江市民プール
	あわら市	あわら市金津B&G海洋センター
	越 前 市	武生中央公園水泳場、家久スポーツ公園温水プール
	坂 井 市	春江水泳プール(幼児用)、坂井市春江B & G海洋センター、坂井市丸岡B & G海洋センター
	池 田 町	池田町B & G海洋センター
	南越前町	ウォーターランド南条
	越 前 町	町営朝日南プール、朝日B & G海洋センター
柔剣道場	福 井 市	福井県立武道館
	大 野 市	大野市エキサイト広場総合体育施設
	勝 山 市	勝山市B & G海洋センター(武道場)
	鯖 江 市	三六武道館
	あわら市	あわら市武道館
	越 前 市	越前市武道館
	坂 井 市	丸岡武道館、坂井武道館
	南越前町	町民武道館
弓道場 ほか	福 井 市	県立馬術競技場、県立ライフル射撃場、アーチェリー練習場、福井市弓道場、 県立アーチェリーセンター、県立クライミングセンター
	大 野 市	大野市エキサイト広場総合体育施設、大野市B & G海洋センター
	勝 山 市	県立クレール射撃場、勝山市B & G海洋センター(弓道場)
	鯖 江 市	鯖江市弓道場
	あわら市	トリムパークかなづ弓道場
	越 前 市	越前市弓道場
	坂 井 市	三国艇庫
	池 田 町	池田町立クライミングウォール
	越 前 町	朝日弓道場、織田中央公園弓道場

資料：各市町ホームページ

6 医療

(1) 市町別の医療機関数・医師数

図表 市町別の病院・一般診療所・歯科診療所の数及び医師数

	病院		一般診療所		歯科診療所		医師数		
	施設数	人口10万人あたり	施設数	人口10万人あたり	施設数	人口10万人あたり	医師	歯科医師	人口10万人あたり
福井市	27	10.2	261	98.2	132	49.6	919	191	417.4
大野市	4	12.1	22	66.4	12	36.2	30	14	132.9
勝山市	2	8.3	12	49.7	8	33.2	40	12	215.5
鯖江市	9	13.2	37	54.2	21	30.8	107	34	206.5
あわら市	3	10.4	15	52.2	9	31.3	39	17	194.9
越前市	2	2.5	51	62.6	29	35.6	107	39	179.1
坂井市	4	4.4	51	56.5	21	23.3	76	28	115.2
永平寺町	1	5.0	11	55.3	7	35.2	395	17	2,072.1
池田町	0	0.0	3	113.7	1	37.9	3	1	151.6
南越前町	0	0.0	8	74.1	2	18.5	8	3	101.9
越前町	2	9.3	10	46.4	6	27.9	13	8	97.5
圏域合計	54	8.3	481	74.4	248	38.3	1,737	364	324.8
福井県	70	8.9	581	73.8	290	36.9	1,982	421	305.4

資料：厚生労働省「平成27年 医療施設調査」

(注) 人口10万人あたりの人口は、総務省「平成27年 国勢調査」に基づく

(2) 医療機関

図表 圏域の医療機関・機関数

機能	医療機関・施設名称	県内の機関数	
			うち圏域内
三次救急医療	福井県立病院救命救急センター	2	1
二次救急医療 (病院群輪番制病院)	福井県立病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、 福井勝山総合病院、公立丹南病院、 福井総合病院、福井大学医学部附属病院	9	7
総合周産期母子医療センター	福井県立病院、福井大学医学部附属病院	2	2
災害拠点病院	福井県立病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、 福井勝山総合病院、公立丹南病院、 福井総合病院、福井大学医学部附属病院	9	7
小児救急夜間輪番病院	福井県立病院、福井赤十字病院、福井県済生会病院、 福井大学医学部附属病院	7	4

資料：福井県ホームページ

7 福祉

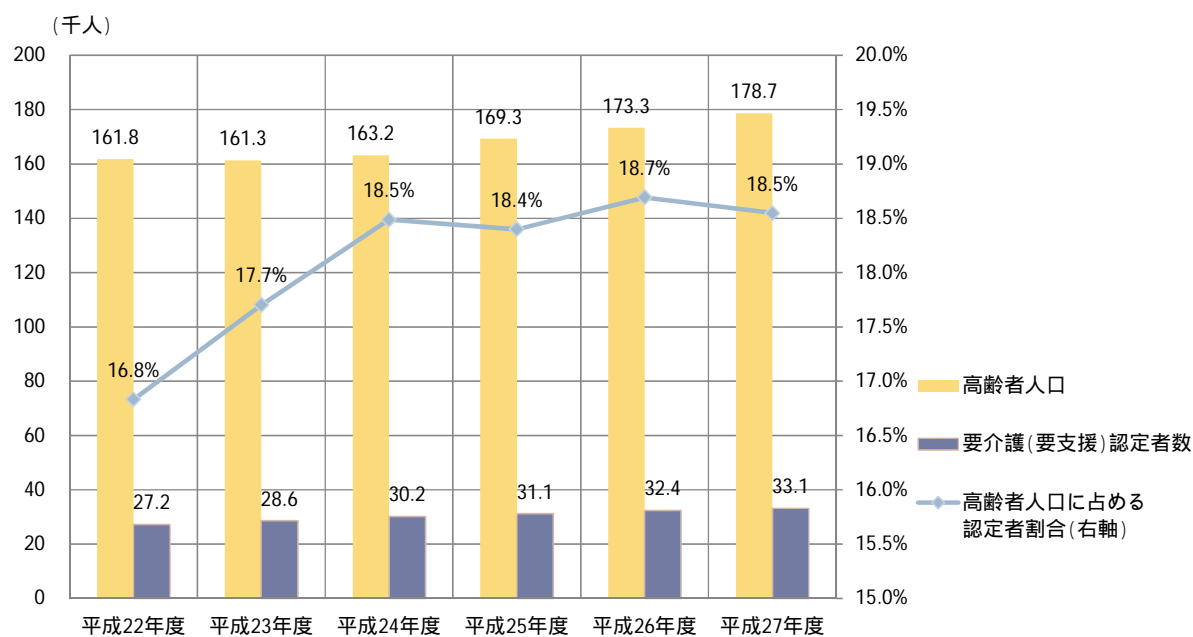
(1) 介護

介護を必要としている高齢者人口等の推移

本圏域の介護を必要としている高齢者は、平成22年度（2010年度）の27.2千人から平成27年度（2015年度）には33.1千人へと、5.9千人増加しているとともに、高齢者人口に占める要介護認定者数の割合も、平成22年度の16.8%から平成27年度には18.5%へと、1.7ポイント増加している。

今後ますます、認知症対策や地域全体で高齢者の生活を支える仕組づくりが必要となる。

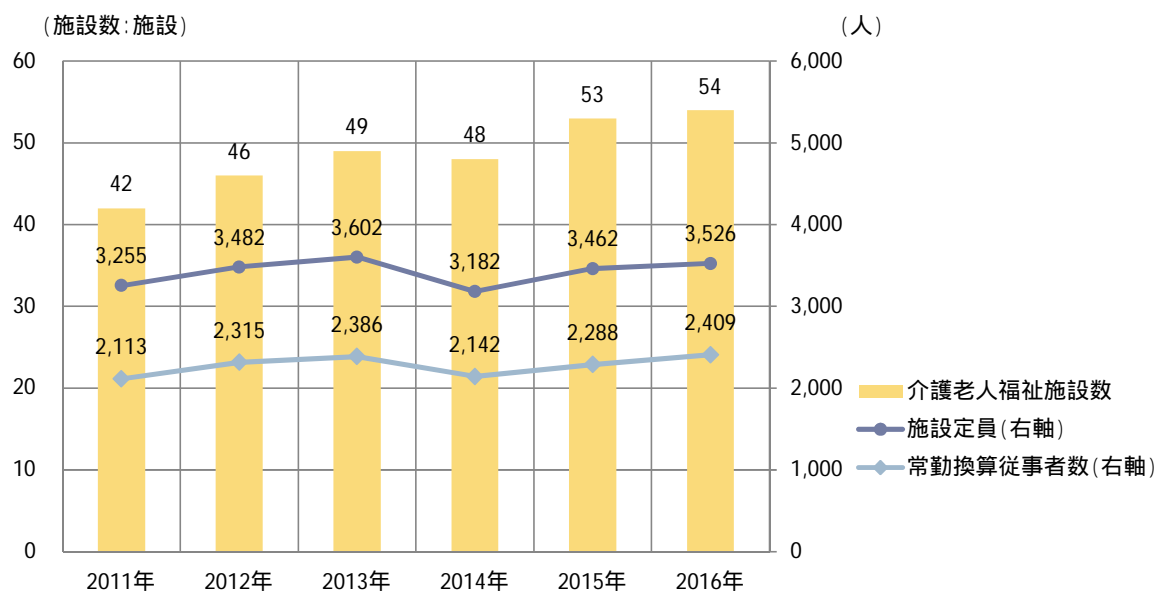
図表 圏域の高齢者人口・要介護（要支援）認定者数・高齢者人口に占める認定者割合の推移



資料：総務省「住民基本台帳に基づく人口、人口動態及び世帯数」、厚生労働省「介護保険事業状況報告」

介護老人福祉施設等の状況

図表 圏域の介護老人福祉施設数・施設定員・常勤換算従業者数の推移



資料：厚生労働省「介護サービス施設・事業所調査」

市町別の高齢者施設数

図表 市町別の介護老人福祉施設・介護老人保健施設・介護療養型医療施設・有料老人ホームの数

	介護老人福祉施設	介護老人保健施設	介護療養型医療施設	有料老人ホーム	高齢者人口1万人あたり
福井市	19	9	9	27	8.8
大野市	4	1	-	2	6.2
勝山市	3	3	-	3	11.0
鯖江市	4	3	1	2	5.6
あわら市	3	2	-	2	7.9
越前市	6	2	4	10	9.8
坂井市	5	3	2	10	8.5
永平寺町	4	-	-	-	7.4
池田町	1	-	-	1	17.6
南越前町	1	2	-	-	8.2
越前町	4	1	1	-	8.9
圏域合計	54	26	17	57	8.5
福井県	65	35	19	68	8.4

資料：厚生労働省「平成28年社会福祉施設等調査」「平成28年介護サービス施設・事業所調査」

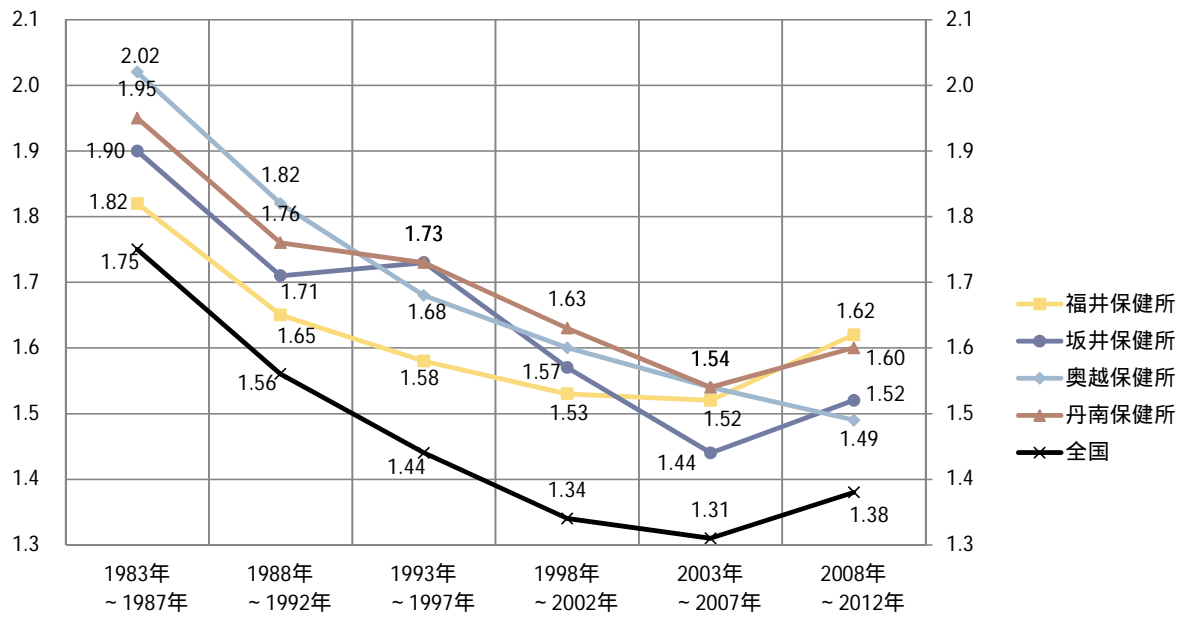
(2) 出産・子育て

本圏域の合計特殊出生率は、全国平均を大きく上回っている。

2016年(平成28年)4月において、圏域内のすべての市町で待機児童ゼロを達成している。

合計特殊出生率の推移

図表 圏域の保健所別の合計特殊出生率推移



資料：厚生労働省「人口動態統計特殊報告」「人口動態調査」

(注) 福井保健所の管轄区域は、福井市及び永平寺町

福井市は中核市移行により、2019年(平成31年)4月～管轄外

坂井保健所の管轄区域は、あわら市及び坂井市

奥越保健所の管轄区域は、大野市及び勝山市

丹南保健所の管轄区域は、鯖江市、越前市、池田町、南越前町及び越前町

市町別の保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園の状況

図表 市町別の保育所・幼稚園・幼保連携型認定こども園の数等

	保育所			幼稚園		幼保連携型認定こども園	
	施設数	児童数	待機児童数	施設数	園児数	施設数	園児数
福井市	48所	3,924人	0人	36園	1,538人	36園	4,586人
大野市	13所	1,053人	0人	8園	40人	0園	0人
勝山市	10所	738人	0人	2園	48人	1園	132人
鯖江市	19所	2,202人	0人	6園	275人	2園	336人
あわら市	0所	0人	0人	0園	0人	12園	931人
越前市	12所	1,499人	0人	11園	298人	12園	1,284人
坂井市	33所	3,543人	0人	14園	190人	1園	13人
永平寺町	8所	621人	0人	3園	61人	0園	0人
池田町	0所	0人	0人	0園	0人	1園	48人
南越前町	2所	96人	0人	0園	0人	2園	296人
越前町	12所	769人	0人	0園	0人	0園	0人
圏域合計	157所	14,445人	0人	80園	2,450人	67園	7,626人

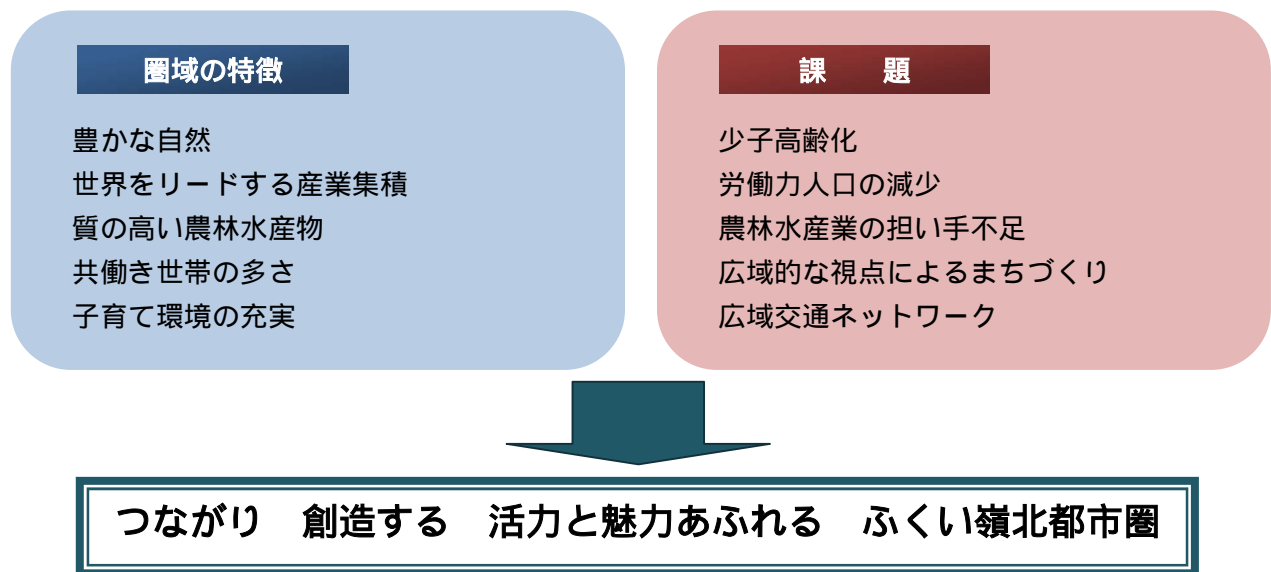
資料：厚生労働省「平成28年 社会福祉施設等調査」「保育所等関連状況取りまとめ（平成28年4月1日）」、
 総務省「統計でみる市区町村のすがた（社会・人口統計体）2016」、
 福井県「平成28年度 学校基本調査」

(注) 「保育所」の項目のうち「児童数」については、各市町に個別照会

第3章 ふくい嶺北連携中枢都市圏の将来展望

1 ふくい嶺北連携中枢都市圏の将来像

(1) 中長期的な将来像



本圏域では、人口減少・少子高齢化が進行する中で、圏域内の市場縮小への対応、労働力の確保等、圏域の経済活性化を図るとともに、安定した住民サービスを提供し、地域の活力を維持していくことが求められている。

そのためには、圏域が有する強みを最大限に活かしながら、有機的に地域資源の連携を図るといった視点が必要になる。

これまで各市町の取組によってその価値を磨き、育まれてきているところであるが、市町の境を越えて、それぞれの地域資源にこれまでになかった新たな「つながり」を生み出すことで、圏域の強みを活かした新たな価値や魅力の創出が可能になると考えられる。

連携中枢都市となる福井市は、圏域の経済成長のけん引役を担うとともに、都市機能の集積・強化、生活関連機能サービス向上への取組についても積極的に推進する。また、各市町においても、圏域としての総合力を発揮するために、それぞれの個性と魅力を磨き高めていくとともに、圏域内での連携・役割分担に取り組むこととする。

今後は、それぞれの市町がこのような役割に取り組むことで、人口減少・人口流出に歯止めをかけ、ふくい嶺北連携中枢都市圏を活力と魅力にあふれる経済・生活圏として形成していくことを目指す。

(2) 将来像の実現に向けた基本方針

前記の中長期的な将来像を実現するために、本ビジョンでは、圏域における新たな産業、サービスの創造や知見の共有による、サービスの質の向上等を図るために、圏域が有する豊富な地域資源の間に市町の境を越えた新たなつながりを生み出すことを基本方針とする。この基本方針に基づいて、以下の3つを戦略とし、具体的な取組を推進することとする。

戦略 圏域全体の経済成長のけん引

少子高齢化に伴い進展する人口減少社会では、圏域内の住民の消費が低下することにより圏域内の市場は縮小することが見込まれる。また、就業者数の減少も続くことが予想されることから、生産面においても人手不足が深刻になることも懸念される。これらは、圏域の経済の停滞を招くことから、さらに雇用機会が減少し、都市部への若者の流出が加速するといった悪循環を発生させる恐れがある。

このような悪循環を断ち切るべく、本圏域において強みとなっている、豊かな観光資源、食関連産業の集積、充実した交通網等を十分に活用し、圏域外からヒト・モノ・カネを引き寄せることで、経済基盤の強化を図り、圏域全体の経済成長を目指していく。

□連携分野

- 産学金官民一体となった経済成長の推進
- 新規創業の促進及び中堅企業等を核とした戦略産業の育成
- 地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
- 戦略的な観光施策の推進

見込まれる主な成果

- ・ 圏域の強みを活かした戦略産業が創造されるとともに、新たな技術開発や製品等の創出に加え、関連産業における付加価値が向上することによる、圏域内経済の好循環
- ・ 観光資源のさらなる魅力向上と情報発信力が強化されることによる、圏域全体の知名度向上と観光誘客の増加

北陸新幹線の金沢～敦賀間の開業、中部縦貫自動車道の延伸等による高速交通網の整備が進み、北陸における交通結節点としての機能は向上しており、さらに福井駅周辺での開発が進んだことから、福井市を中心とした都市機能の強化が進んでいる。また、医療・教育等の様々な分野でも福井市を中心に高次の都市機能が集積している。

これら高次の都市機能の集積を維持・強化していくことは、圏域全体での経済・生活の質の向上につながるため、今後も魅力ある圏域づくりのための取組を進めていく。

□連携分野

- 高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築
- 高等教育・研究開発の環境整備

見込まれる主な成果

- ・ 圏域内外の公共交通拠点の整備、バス路線の維持・確保などを図ることによる、住民生活における移動の利便性向上
- ・ 中心拠点において、文化施設の整備を進め、また、地域資源を活用したイベント等を実施することによる、圏域外との交流人口の増加

人口減少社会では、地方公共団体の財政状況は今後もますます厳しくなることが予想され、特に過疎化が進行する地域では、将来的に安定した行政サービスの提供が困難になる恐れもある。また、高齢者の増加や共働き世帯の増加等、新たな生活関連機能サービスのニーズも高まっていくことが予想される。

このような状況下で、医療・福祉サービス等の充実や地域振興、ネットワークの強化・人材の育成などを圏域内で連携して行っていくことで、生活関連機能サービスの維持・向上を図っていく。

□連携分野

- ◆ 生活機能の強化に係る政策分野
 - 地域医療及び介護・福祉サービスの充実
 - 学校教育・社会教育の環境整備
 - 文化振興
 - 地域振興
 - 災害対策
 - 環境対策
- ◆ 結びつきやネットワークの強化に係る政策分野
 - 地域公共交通の充実
 - ICT・道路等社会インフラの整備
 - 地域内外の住民との交流・移住促進
- ◆ 圏域マネジメント能力の強化に係る政策分野
 - ネットワークの強化・人材の育成

見込まれる主な成果

- ・ 圏域全体の生活関連機能サービスの供給体制が強化されることによる、各市町における住民生活の安全・安心の向上
- ・ 圏域内外との人的交流がこれまでよりも活発化することによる、人口の増加や産業振興、地域づくり等を担う新たな人材の確保

2 ふくい嶺北連携中枢都市圏が目指す目標人口

(1) 目標人口の推計方法

国では将来の合計特殊出生率を2030年（平成42年）に1.80、2040年（平成52年）に2.07に向上することを目標に掲げており、本圏域でもこの目標を踏襲することとする。

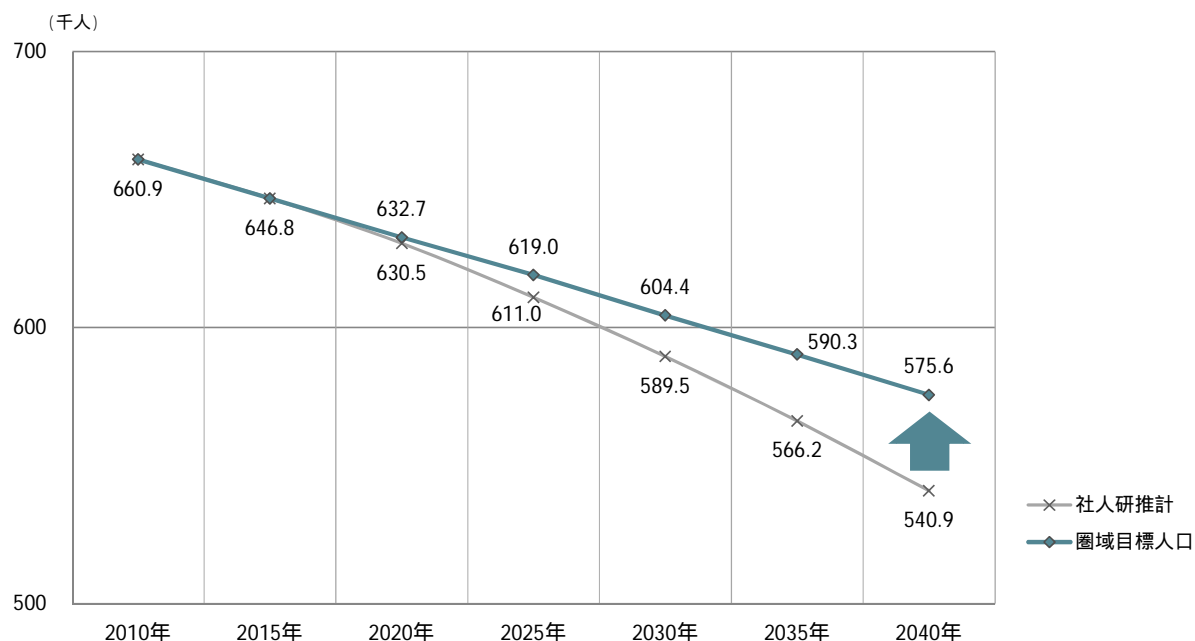
また、各市町が総合戦略に位置づけられた取組を推進するとともに、圏域内の連携が強化されることにより、現在の転出超過の状態から、2020年（平成32年）を目途に転入転出が均衡するものとして、将来人口の推計を行う。

(2) 将来の目標人口

圏域の人口は、2010年（平成22年）国勢調査時点で66.1万人、2015年（平成27年）国勢調査時点で64.7万人であるが、将来人口は社人研によると、2040年（平成52年）には54.1万人と、2010年比で18.2%減少すると推計されている。

このように、これまでの人口動態を前提とすると、今後人口減少が加速度的に進むこととなるが、経済成長、都市機能の集積・強化、生活関連機能サービスの向上を図ることにより、2040年時点で社人研推計よりも3.5万人多い57.6万人という水準（社人研推計値比プラス6.4%）の人口規模を維持することを目指し、圏域が一体となった取組を進めていく。

図表 圏域の将来目標人口



第4章 連携協約に基づき推進する具体的取組

1 具体的取組

(1) 圏域全体の経済成長のけん引

連携協約の内容	産学金官民一体となった経済成長の推進
経済成長の推進に向け、産学金官民一体となった協議会を運営し、商工業振興施策に対する提案や進捗管理などに取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
商工業振興施策検討協議会における経済成長につながる新たな施策の提案件数(累計)		5件以上

事業名	商工業振興施策検討協議会運営					
事業概要	<p>産学金官民により構成する協議会を設立し、圏域内市町が連携して行う商工業振興施策について、経済成長につながる施策の提案や意見、進捗管理などを行う。</p> <p>(構成団体) ・圏域内の企業、大学、金融機関、商工団体、行政機関など</p>					
関係市町	全市町					
事業費(千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	300	200	200	200	200	1,100
役割分担及び費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	協議会への参画など、事業実施に連携して取り組む。				

連携協約の内容	新規創業の促進及び中堅企業等を核とした戦略産業の育成
圏域の特性を活かした様々な分野での創業促進や異分野異業種交流、新事業・新製品開発のための支援など、戦略産業の育成に取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
新事業創出支援事業の支援件数 (累計)		10件

事業名	繊維産業販路拡大支援					
事業概要	<p>福井市内の繊維事業者が、圏域内の繊維事業者と連携して、国内外の展示会等への出展や自ら展示会等を開催する事業に対して支援を行う。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏において「繊維展示商談会」を開催する。 ・欧米企業とのマッチングなどの商談支援や輸出に向けた勉強会を行う。 ・海外での市場調査事業に対して支援を行う。 					
関係市町	福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、南越前町、越前町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	50,500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、支援事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業者・住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

事業名	福井発！ビジネスプランコンテスト開催					
事業概要	<p>地域活性化、経済活性化につながる新事業の創出、創業支援、地方ならではの新たなビジネスの発掘や起業活動の促進を目的として、幅広くビジネスプランを募集し「ビジネスプランコンテスト」を開催する。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・コンテストは、一般の部のほか学生の部を設け、若年層の創業機運醸成を図る。 ・イベント広報など、効果的なPRを連携して行う。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、交流事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業者・住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。				

事業名	事業承継セミナー開催					
事業概要	<p>多種多様な創業促進や事業承継後の早期経営安定を図るため、技術継承や事業承継のサポート体制の充実を目的とした、税理士や中小企業診断士等の専門家などを対象にしたセミナーなどを開催する。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「事業承継セミナー」などを年3回程度開催する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業者・住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。				

事業名	新事業創出支援					
事業概要	福井市内の事業者が、圏域内の事業者と新たな共同関係、取引関係を構築したうえで、圏域内産業への波及効果が見込まれる新製品、新技術、新サービスについて、研究開発から製造、販路開拓までを一貫して行う事業に対して2年間継続した支援を行う。					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	10,000	20,000	20,000	20,000	20,000	90,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、支援事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業者・住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。				

事業名	新製品開発支援					
事業概要	福井市内のものづくり事業者が、圏域内のもものづくり事業者と新たな共同関係、取引関係を構築したうえで、連携して新製品開発を行う事業に対して支援を行う。					
関係市町	福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、南越前町、越前町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	2,100	3,100	3,100	3,100	3,100	14,500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、支援事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業者・住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。				

連携協約の内容	地域資源を活用した地域経済の裾野拡大
圏域内の特産物の販路開拓やPR促進、統一ブランドの開発など、地域経済の裾野の拡大に取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
農林水産物特産品販路拡大事業の参加事業者数		60社

事業名	特産品販路開拓・拡大					
事業概要	<p>圏域内の加工品をはじめとする特産品について物産展を開催するとともに、北陸新幹線の金沢～敦賀間の開業に向けて、圏域内の特産品を圏域内外へ広く発信するため、新ブランドの立上げ等に向けて連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内における販路拡大のため、圏域内百貨店において物産展を開催する。 ・圏域外への販路拡大のため、首都圏等において物産展を開催する。 <p>新ブランドの立上げがなされた段階で、決定した方針に基づき事業費を盛り込む。</p>					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	7,000	7,000	7,000	17,500	17,500	56,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業者・住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

事業名	消費拡大促進					
事業概要	<p>圏域内の消費の活性化を図るため、圏域内の商業施設や商店街などの相互情報発信を行うとともに、圏域内の商圈を維持・拡大するための様々な方策について共同で研究する。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の魅力的な商店街や個性ある店舗を広く知ってもらうため、各商業施設、商店街、個店の概要やキャンペーン情報等をそれぞれのホームページやSNSで共有する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	100	100	100	100	100	500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業者・住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。				

事業名	農林水産物特産品販路拡大					
事業概要	<p>圏域内の特産農林水産物や加工品の販売拡大や地産地消を図るため、圏域内の農林水産物をはじめとする特産品を圏域内外で広く知ってもらうための物産展等の開催や物流に関する調査・研究などに連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ハピテラスにおいてフードフェスを開催する。 ・食料品宅配事業者による地産地消キットの創作を行う。 ・ハピリン内にある観光物産館「福福館」においてPR販売イベントを開催する。 ・都内飲食店において圏域内の農林水産物等を使用したメニュー提供企画を行う。 ・首都圏のバイヤーを福井へ招聘する。 ・首都圏への輸送手段や物流共同化について調査・研究を行う。 ・ジェトロ福井等と協力し、海外物産展を開催する。 ・海外市場販路開拓研修会・セミナーの受講費用について支援する。 					
関係市町	福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、南越前町、越前町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	20,400	19,900	19,900	19,900	19,900	100,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	出展者の募集、PRなど、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

事業名	在来種そばPR					
事業概要	<p>そば処としての圏域の魅力を高め、そばを目的とした来訪者の増加と、それに伴うそば生産量の増加を図るため、圏域内の各地で栽培されている在来種そばについて産地PRなどに連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・そばPRのための検討会を設置し、在来種紹介パンフレットやそば生産地、そば打ち体験道場マップの作成、在来種そば情報サイトの開設など効果的な広報について検討を行う。 ・「栽培技術向上講習会」を開催するなど収量確保のための調査・研究を行う。 					
関係市町	福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、南越前町、越前町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	参加者の取りまとめ、資料収集など、事業実施に連携して取り組む。				

連携協約の内容	戦略的な観光施策の推進
圏域内の観光資源の魅力向上や広域観光周遊ルートの形成、情報発信力の強化のほか、外国人観光客の受入体制の整備など、圏域全体への誘客拡大に取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
観光客入込数 (延べ人数)	2,249.2万人 (H29)	2,913.6万人

事業名	広域観光周遊ルート形成					
事業概要	<p>圏域の認知度向上とさらなる誘客を図るために、圏域内にある特徴的な観光資源を掘り起こし磨き上げ、観光資源をつなぎ合わせた広域観光ルートを構築するとともに、観光客の受入環境の向上に連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内4エリアにおいて実施する周遊滞在型観光推進事業で生み出される観光素材の活用を行う。 ・各エリアの周遊滞在型観光推進計画に位置付けたルートをベースに、圏域ならではの観光素材をテーマやターゲットごとにつなぎ合わせた周遊滞在型観光ルートを構築する。 ・掘り起こし磨き上げた体験型観光素材を活用したまち旅博覧会を開催する。 ・官民連携によるおもてなし機運の醸成を図るため、観光・交通事業者等と連携して観光おもてなし運動を推進するとともに、「おもてなし講習会」や「おもてなし推進大会」を開催する。 ・圏域内の観光資源を活用した旅行商品を造成する旅行会社への支援を行う。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	3,000	3,000	4,000	6,300	5,000	21,300
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供、観光素材の発掘など、事業実施に連携して取り組む。				

事業名	観光動態調査					
事業概要	<p>観光プログラムの開発や観光ルートの形成、観光情報発信の効果的な実施を図るため、携帯端末のGPS機能や在圏情報などにより蓄積される位置情報を活用した観光客の行動、動態に関する調査を行い、来訪者の流動や滞在分析に連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来訪者分析や宿泊地分析、滞在時間分析、流入分析、周遊数分析など、観光動態調査を実施する。 ・外国人観光客に係る来訪者分析や宿泊地分析、滞在時間分析、流入分析、周遊数分析など、インバウンド観光動態調査を実施する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	3,300	2,000	5,300		3,300	13,900
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。				

事業名	広域観光情報発信					
事業概要	<p>北陸新幹線を活用した観光誘客の推進を図るため、大都市圏でのPRや営業活動などを通して、圏域内の観光素材(飲食・土産品・交通等を含む)の情報発信に連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光事業者(旅行会社・メディア等)対象のファムツアーと旅行愛好家対象のモニターツアーを開催する。 ・北陸新幹線沿線や大都市圏の観光事業者への営業活動を行う。 ・大都市圏において、メディア媒体を使って観光情報を発信する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	3,100	1,900	4,300	9,300	6,900	25,500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

事業名	観光案内所機能強化・情報発信					
事業概要	<p>北陸新幹線の金沢～敦賀間の開業に向け、観光客の受入態勢の強化を図るため、観光案内所に圏域の観光情報を一元的に集約するなど、情報発信に連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・JR福井駅の観光案内所に圏域内のイベント等の情報を集約する。 ・ワンストップで各市町の魅力的かつ多様な観光情報を提供するため、JR福井駅の観光案内所を運営する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	18,800	18,800	18,800	18,800	18,800	94,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。				

事業名	外国人旅行者向け情報発信					
事業概要	<p>圏域の認知度向上とブランディングによる外国人観光客の誘客を図るため、現地での営業活動や観光プロモーションなどを連携して行う。</p> <p>(主な事業内容)</p> <p>・台湾・タイ・フランスをメインターゲットに、現地での旅行会社への営業活動や、イベント、SNSなどを活用した情報発信を行う。</p>					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	2,300	2,300	2,300	2,300	2,300	11,500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

事業名	外国人観光客受入環境整備					
事業概要	<p>圏域内において広域かつ統一的な外国人観光客の受入環境の整備を図るため、観光施設内表示の多言語化や宿泊施設等が行うインバウンド対策への支援などを行うとともに、二次交通の充実に向けて連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・外国語併記した看板・商品メニュー・パンフレットの作成など、観光施設内表示や宿泊施設・飲食店等の多言語化に対して支援する。 ・無料公衆無線LANや観光拠点におけるWi-Fi環境整備に対して支援する。 ・外国人観光客に対応する通訳ボランティアを育成する。 ・外国人旅行者(個人)が圏域内の観光地を移動するために必要な二次交通の充実に向け、調査・研究等を行う。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	3,800	3,800	6,300	6,300	6,100	26,300
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。 ハード整備等があった場合、当該市町分を負担する。				

事業名	教育旅行支援					
事業概要	<p>北陸新幹線を利用した首都圏からの教育旅行の誘致を図るため、県等と連携して首都圏の旅行会社や学校へ誘致活動などを行うとともに、圏域内への教育旅行に対して支援する。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸三県と連携し、商談会での営業や首都圏の旅行会社、学校への誘致活動を行う。 ・農林水産や教育といった部局と連携し、旅行会社や学校に対して教育旅行に適した観光素材(農業体験、農家民泊、学力・体力日本一など)を提案する。 ・教育旅行補助金制度を拡充する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	9,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

(2) 高次の都市機能の集積・強化

連携協約の内容	高度な中心拠点の整備・広域的公共交通網の構築
圏域全体に対する魅力的で質の高い都市的サービスの提供、圏域内外から通勤・通学・観光等で訪れる人々の利便性の向上など、高度な中心拠点の整備と広域的公共交通網の構築に取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
JR福井駅の乗車人数	374.4万人 (H29)	464.5万人

事業名	公共交通ネットワーク構築					
事業概要	<p>車に頼り過ぎない住みよいまちを目指し、移動の利便性向上を図るため、パーク＆ライドの整備、コミュニティバスの相互乗り入れ、ICカード導入に向けた検討など、公共交通ネットワーク化に連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・並行在来線の乗り継ぎ拠点として利用可能な駐車場の規模、稼働状況等について、実態調査を行う。 ・新たな駐車場需要について検討を行ったうえで、並行在来線の乗り継ぎ拠点として、パーク＆ライドの整備を行う。 ・二次交通としての機能強化のために、圏域内各市町のコミュニティバスの実態調査、研究などを行い、コミュニティバスの市町間相互乗り入れを目指す。 ・地域公共交通網形成計画を策定する。 ・ICカード導入に向け、課題抽出など研究を行う。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	1,000	200	5,300	25,000	20,100	51,600
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町及び交通事業者と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

事業名	北陸新幹線福井駅(東口)拡張施設整備					
事業概要	<p>県都の玄関口としてふさわしい「福井駅」の実現と駅内における安全かつスムーズな移動の確保を図るため、駅舎内に整備できない観光案内所等を福井駅東口の交通広場側に張り出す形で整備し、福井駅舎と合築整備する。</p> <p>(施設概要) ・施設規模 鉄骨2階建て(高さ 約10m 延床面積 約1,600㎡) ・主な内容 観光案内所(県内17市町の観光情報を発信) レンタサイクル、トイレ 待合・休憩スペース 展示スペース(連携中枢都市圏構成市町のPR 他)</p>					
関係市町	福井市					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
		160,000	1,000,000	337,000		1,497,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	関係機関等と調整・協議を行い、事業を実施する。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町					

事業名	中心拠点賑わい創出					
事業概要	<p>圏域内の交流人口の増大と地域資源のPR機会の拡充を図るため、圏域内の様々な資源を最大限活用するイベントなどを通して、中心拠点における賑わいの創出に連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・来街者を中心拠点に呼び込む仕掛け、情報発信の手法などについて調査・研究を行う。 ・圏域内の地域資源(観光資源・伝統工芸・景観資源)を活用したイベントなどをJR福井駅周辺において実施する地域団体等に対して支援する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。				

事業名	福井ふるさと広域景観形成					
事業概要	<p>北陸新幹線の金沢～敦賀間の開業に向けて、広域景観保全の仕組みを作るために県が策定した「広域景観ガイドライン」に基づいた景観形成に連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・各景観軸ごとにハード整備箇所の可能性調査等に取り組む。 ・各景観軸ごとに行われる県補助事業を補完する事業(県補助対象から外れるハード整備)を実施する。 ・景観形成に付随したソフト事業を行う。 <p>(景観軸のメインテーマ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・北陸新幹線沿線景観軸：車窓から眺めるふるさと景観の向上 ・旧北陸道景観軸：歩いてみたくなる街道への回遊性の向上 ・越前海岸景観軸：四季折々に美しい景観の再発見・保全・情報発信 					
関係市町	福井市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、南越前町、越前町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。 ハード整備等があった場合、当該市町分を負担する。				

事業名	文化会館整備					
事業概要	<p>福井市が整備する文化会館を文化創造の拠点として位置付け、文化芸術の創造、発信や交流を行うとともに、北陸新幹線の金沢～敦賀間の開業を見据え、全国規模の大会やフォーラムなどでの活用についても検討を行う。</p> <p>(基本構想) 「感動・育成・発信」の3つの基本理念と、「鑑賞の場をつくる」や「交流と活動の場をつくる」などの6つの目指す方向性を定めている。</p>					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
役割分担 及び 費用負担	福井市	施設の利用促進について、連携市町と連絡・調整を行い、事業を企画し実施する。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	施設の利用促進について連携して取り組む。				

事業名	防災センター展示・体験施設環境整備					
事業概要	<p>災害に備えるため、より学習効果の高い施設となるよう既存施設の改修・修繕にあわせて機能向上に取り組み、圏域内の住民の利用促進を図る。</p> <p>(主な事業内容)</p> <p>・展示・体験施設の環境整備に関して、圏域内の消防機関の幅広い見識・意見等を取り入れながら既存展示体験施設の一部改修・修繕を行う。</p>					
関係市町	<p>全市町 (福井市消防局、大野市消防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、嶺北消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、永平寺町消防本部)</p>					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	9,800	9,400	9,300			28,500
役割分担 及び 費用負担	福井市	<p>連携市町と連絡・調整を行い、事業を企画し実施する。 事業実施に必要な費用を負担する。</p>				
	連携市町	<p>事業実施に連携して取り組む。</p>				

連携協約の内容	高等教育・研究開発の環境整備
地域社会の発展に貢献する人材を確保するため、圏域内の企業ニーズに応じた人材育成やその環境整備に取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
企業若手人材育成懇談会の参加者数		年間60人

事業名	企業若手人材育成支援					
事業概要	企業間連携や産学連携により、新事業の展開などを図るため、圏域内の大学、商工会議所等と連携し、ものづくり企業などの若手人材を対象とした懇談会を開催し、若手人材、大学研究者のネットワーク形成を促進する。					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	3,000	3,000	3,000	3,000	3,000	15,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業者・住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。				

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

連携協約の内容	地域医療及び介護・福祉サービスの充実
広域連携による地域医療や成年後見支援体制、子育て環境の充実など、生活機能の強化に取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
病児保育事業の圏域内市町間契約数	36件 (H30)	38件

事業名	休日急患歯科診療					
事業概要	<p>圏域内の住民が安心できる医療体制の確保を図るため、福井市の休日急患歯科診療を圏域内の住民が利用できるような環境整備を行うとともに、利用促進に向けて効果的な広報などに連携して取り組む。</p> <p>(事業内容) ・設置者：(一社)福井市歯科医師会</p>					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	9,300	9,300	9,300	9,300	9,300	46,500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。				

事業名	病院群輪番制病院運営					
事業概要	<p>圏域内において安定的な救急医療体制の確保を図るため、圏域内の基幹7病院で二次救急医療を実施するとともに、サービス向上に向けた検討などを連携して行う。</p> <p>(基幹7病院)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井県立病院 ・福井赤十字病院 ・福井県済生会病院 ・福井総合病院 ・福井勝山総合病院 ・公立丹南病院 ・福井大学医学部附属病院 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	10,100	10,100	10,100	10,100	10,100	50,500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業を推進する。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	各市町の持ち回りによる事務局運営など、事業実施に連携して取り組む。 既存の費用負担の考え方を基に算出された費用を負担する。				

事業名	成年後見制度利用促進体制整備					
事業概要	<p>圏域内の高齢者等がより安心して生活することができる社会を実現するため、成年後見制度利用に向けての地域連携ネットワークづくりや中核機関設置等の体制整備に連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「連携検討会」を設置し、圏域内各市町の現状及び課題の整理や、費用・役割分担の協議、先進事例の研究などを行う。 ・連携の方向性が決定した段階で、中核機関の設置準備及び関係機関等とのネットワークづくりなどについて協議・検討を行う。 ・中核機関を設置し、制度の啓発や利用支援、関係機関との連携を行う。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	100	100	100	18,800	18,800	37,900
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	担当職員の派遣、負担についての協議など、事業実施に連携して取り組む。 事業実施となった場合、合理的な基準により算出された費用を負担する。				

事業名	病児保育環境整備					
事業概要	<p>圏域内の住民がより安心して子育てできる社会を実現するため、圏域内市町間で相互に病児保育を利用できるよう環境整備を行うとともに、サービス向上に向けた検討などを連携して行う。</p>					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	22,900	23,500	23,500	23,500	23,500	116,900
役割分担 及び 費用負担	福井市	<p>連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。</p>				
	連携市町	<p>住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。 既存の費用負担の考え方を基に算出された費用を負担する。</p>				

事業名	保育所等広域入所					
事業概要	<p>圏域内の住民がより安心して仕事と子育てを両立できる社会を実現するため、圏域内の他市町の保育所等で保育を必要とする児童の広域入所を調整し実施するとともに、更なるサービス向上に向けた検討を連携して行う。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の施設情報を統一フォーマットにするなど、圏域内各市町間の情報共有を図る。 ・広域入所に係る契約方法の見直しなど、事務の効率化に向けた検討を行う。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	272,800	272,800	272,800	272,800	272,800	1,364,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。 既存の費用負担の考え方を基に算出された費用を負担する。				

連携協約の内容	学校教育・社会教育の環境整備
広域連携による学習環境の向上や、圏域内の多様な人材活用による講師派遣など、教育環境整備に取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
社会教育講師派遣事業の登録者数		130人

事業名	学校教育担当者会議開催					
事業概要	<p>「学校教育担当者会議」を設置し、学校教育に関する課題等に対して、情報交換や協議などを行いながら解決等に向けて連携して取り組む。</p> <p>(主な協議案件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・就学援助 ・英語教育 ・道徳教育 ・プログラミング教育 ・ICT環境整備(タブレット、Wi-Fi) ・幼児教育(幼小中連携) 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	100	100	100	100	100	500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	課題等の情報提供など、事業実施に連携して取り組む。				

事業名	人材活用による講師派遣					
事業概要	<p>社会教育の充実を図るため、豊富な経験や知識・技能を有する高齢者等を講師として、圏域内市町間で相互に派遣する。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・現在、圏域内各市町がそれぞれで行っている人材活用事業について、人材バンク等への登録者の情報共有など統一的な制度設計を図り、広域的な派遣を行う。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	100	100	100	100	100	500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	登録者等の情報提供など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

連携協約の内容	文化振興
圏域内の魅力ある文化資源を発掘し情報発信するとともに、文化資源や文化芸術イベントを活用し観光誘客や交流人口の増加を図るなど、文化芸術の振興に取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
主要文化施設の入込者数	119.3万人 (H29)	130万人

事業名	文化施設間連携と文化振興情報発信力強化					
事業概要	<p>観光誘客、交流人口の増加や、文化芸術の振興を図るため、圏域内の各文化施設間の連携を強化し、博物館等の企画展や文化芸術に関するイベントなどの情報発信に連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の各文化施設の講座や学習会に、圏域内市町間で相互に住民参加を可能とする仕組みを構築する。 ・圏域内の各文化施設の特色、企画展、イベントなどの情報や、文化芸術に関する活動や公演イベントの情報について、様々なツールを活用した効果的な広報を行う。 ・共通のカテゴリーやテーマなどによる「合同出張ミュージアム」を開催する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	100	1,000	1,000	1,000	1,000	4,100
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	文化芸術イベント等の情報提供、住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。				

事業名	地域の魅力ある文化資源活用					
事業概要	<p>観光誘客、交流人口の増加や、文化芸術の振興を図るため、圏域内の魅力ある文化資源を発掘し情報発信するとともに、これら資源を関連付けた圏域周遊ツアーの実施に向けて連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・地域に埋もれている素材の発掘と集約を連携して行い、文化資源等をつなぐ周遊ツアー実施に向け関係機関等への素材提供を行う。 ・発掘、集約した文化資源等について、様々なツールを活用した効果的な広報を行う。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	文化資源等の情報提供、住民への周知など、事業実施に連携して取り組む。				

連携協約の内容	地域振興
<p>広域連携による鳥獣害対策、就職支援や企業誘致の促進など、圏域全体の活性化や地域の振興に取り組む。</p>	

成果指標	現状値	目標(H35)
就職支援事業を利用して就職した若者及び女性等の数 (累計)		100人

事業名	鳥獣害対策連絡会議開催					
事業概要	<p>「鳥獣害対策連絡会議」を設置し、先進的な事例等を調査・研究するとともに、圏域内各市町で実施されている鳥獣害対策について情報交換等を行い、連携して有効な鳥獣害対策に取り組む。</p> <p>(主な協議案件)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・有害鳥獣の効果的・効率的な捕獲方法 ・有害鳥獣の地域資源としての利用方法 ・有害鳥獣の広域的で効率的な処理・処分方法 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	100	100	100	100	100	500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	課題等の情報提供など、事業実施に連携して取り組む。				

事業名	女性・若者等就職支援					
事業概要	<p>圏域内への移住促進や圏域内企業の労働力確保などを図るため、福井市が開催する就職支援事業について対象者を圏域内住民に拡大するほか、各市町が実施する事業について情報を共有し広く周知するなど、女性や若者等の就労促進に連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子育て中の母親や障がい者などを対象にきめ細やかな「就職支援セミナー」を開催する。 ・若者などを対象に「出張就職相談会」を開催する。 ・補助金や奨励金など圏域内各市町の支援メニューの情報を一元化し、周知広報を行う。 ・圏域内企業の人材不足の解消や労働力の確保などに向けた施策の検討を行う。 					
関係市町	福井市、大野市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、南越前町、越前町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	2,000	2,000	2,000	2,000	2,000	10,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供や広報紙等による周知など、事業実施に連携して取り組む。				

事業名	企業誘致促進					
事業概要	<p>「企業誘致連絡会」を設置し、企業誘致に係る各種課題の共同研究や圏域内市町間の情報共有を行い、圏域外からの企業誘致を促進する。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地希望企業、産業用地、空き工場など企業誘致に係る情報を圏域内市町間で情報共有する。 ・立地希望企業の条件に合致する産業用地、空き工場などについて広域的なマッチングを行う。 					
関係市町	福井市、勝山市、鯖江市、あわら市、越前市、坂井市、永平寺町、南越前町、越前町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	100	100	100	100	100	500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	連絡会への参画、関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。				

連携協約の内容	災害対策
災害発生時における相互応援の円滑化や、広域連携による人材育成、研修会開催など、減災・防災体制の強化に取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
新たな上級救命講習の参加者数 (累計)		250人

事業名	防災担当職員人材育成					
事業概要	<p>広域的な大災害に対する圏域内の市町職員間の連携や対応等の習得、近年の震災や豪雨災害、大雪等への対応状況や先進的な訓練の取組事例の知識共有のため、国や全国各地で開催される防災学習会や総合防災訓練への参加などを行うとともに、圏域内市町の相互連携による「総合防災訓練」を開催する。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・大規模災害等のあった被災地を訪れ、発災時の初期対応や避難所開設・運営、復興状況など災害発生後の課題について調査・研究する。 ・圏域内の防災体制を強化するため、被災者や自主防災組織、語り部の話など、市民目線での生の声を現場で伺い、今後のソフト対策に活かす。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	1,200	1,200	1,200	1,200	4,200	9,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

事業名	地域防災力向上					
事業概要	<p>「連絡会議」を設置し、災害発生時に「福井県・市町災害時相互応援協定」に定める応急対策や復旧活動が円滑に実施されるよう協議を行うとともに、大規模な災害発生により被災市町のみでは十分な応急対応ができない場合に備え、民間事業者等との協定締結を行う。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「連絡会議」において、圏域内各市町が有する備蓄物資、資機材等の情報を共有し、物資・資機材の提供、職員の応援などについて検討を行う。 ・圏域内市町の同時被災を想定し、不足する人員や物資について、圏外事業者等との協定締結を検討する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	100	100	100	100	100	500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。				

事業名	市民防災交流					
事業概要	<p>圏域内住民の防災意識の醸成や自助、共助の促進による地域防災力の向上を図るため、圏域内市町の各自主防災組織等による意見交換会を開催するとともに、総合防災訓練、防災学習会等への参加を促し交流を深める。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・意見交換会において、圏域内の自主防災組織の先進的な活動事例の紹介や外部講師による最新の災害情報等の習得を行う。 ・圏域内の各自主防災組織に対して、各市町で行われる総合防災訓練や防災学習会への積極的な参加を呼び掛ける。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	300	300	300	300	300	1,500
役割分担 及び 費用負担	福井市	自主防災組織等と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。				

事業名	防火・防災研修共同開催					
事業概要	<p>地震等の大規模災害における圏域内市町の住民の防火・防災対応能力の向上や、住民による広域的な連携活動など協力体制の構築を図るため、圏域内市町の住民等を対象にした「防火・防災研修会」を共同開催する。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・福井市防災センターの展示・体験施設等を活用することにより、実践的で高度な防火・防災知識及び技術の普及に連携して取り組む。 					
関係市町	<p>全市町 (福井市消防局、大野市消防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、嶺北消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、永平寺町消防本部)</p>					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	200	200	200	200	200	1,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。				

事業名	火災原因調査研修共同開催					
事業概要	<p>圏域内の消防本部等が連携して火災原因の調査技術・原因分析能力の向上を図るため、圏域内の消防職員を対象とした「火災原因調査技術研修会」を共同開催する。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内消防本部等の火災原因調査担当を対象に、指定都市の豊富な火災事例や高度な火災調査技術及び知識を習得することにより、圏域内における類似火災の防止等予防行政の推進に連携して取り組む。 					
関係市町	<p>全市町 (福井市消防局、大野市消防本部、勝山市消防本部、鯖江・丹生消防組合消防本部、嶺北消防組合消防本部、南越消防組合消防本部、永平寺町消防本部)</p>					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	300	300	300	300	300	1,500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。				

事業名	上級救命講習共同開催					
事業概要	<p>AEDや心肺蘇生法等の救命に必要な応急手当の知識及び技術の習得による救命率の向上を図るため、「上級救命講習」を共同開催する。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の住民を対象にした「上級救命講習」を、福井市消防局にて共同開催する。 ・ポスターの作成など圏域内市町の住民に広く周知するためPR活動を連携して取り組む。 					
関係市町	福井市、大野市、勝山市、永平寺町 (福井市消防局、大野市消防本部、勝山市消防本部、永平寺町消防本部)					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	700	100	100	100	100	1,100
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。				

連携協約の内容	環境対策
災害時等におけるごみ処理施設間での相互応援の円滑化や、広域連携による環境啓発・教育、不法投棄対策など、環境保全の推進に取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
企業向け環境研修会の参加企業数 (累計)		200社

事業名	環境啓発・教育					
事業概要	<p>公害の未然防止に係る取組を広域的に実施し、大気環境や水環境への負荷の効果的な低減を図るため、圏域内の市町を越えて環境アドバイザー派遣を行うとともに、「企業向け研修会」を開催する。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内において環境教育に適する人材を幅広く発掘し、環境講座講師として登録を促す。 ・「企業向け研修会」の開催に向けて、講師、研修内容や周知などについて圏域内市町で協議を行う。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	100	600	600	600	600	2,500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	派遣要望団体との調整、広報・募集など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

事業名	不法投棄対策					
事業概要	<p>不法投棄の早期発見と未然防止を図るため、「連絡会議」での情報共有や共同パトロールの実施など、圏域内市町境付近や河川敷など管轄が不明瞭な場所における不法投棄対策を行う。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「連絡会議」を設置し、不法投棄対策に関する情報共有、意見交換を行う。 ・重点箇所の洗い出しを行ったうえで、共同パトロールを実施する。 ・効果的な設置場所について協議を行ったうえで、監視カメラを設置する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	900	1,700	1,700	1,700	1,700	7,700
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

事業名	ごみ処理施設相互応援					
事業概要	<p>局地的災害や事故等の発生などにより、圏域内市町において部分的にごみ処理が困難な状況になった場合に備え、圏域内の処理施設間での相互応援体制について検討する。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・「連絡調整会議」を設置し、専門家を交えた先進事例の研究などを行うとともに、相互応援体制の構築にあたっての課題等について圏域内市町で協議を行う。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	100	100	100	0	0	300
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。				

連携協約の内容	地域公共交通の充実
公共交通機関の利用促進など、地域公共交通のネットワークの維持・強化に取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
JR越美北線・えちぜん鉄道・福井鉄道の乗車人数	594.4万人 (H29)	675.9万人

事業名	公共交通利用促進					
事業概要	<p>北陸新幹線の金沢～敦賀間の開業により新たに並行在来線が運行されるなど交通体系が大きく変化するのに合わせて、二次交通も含めた公共交通の利用促進に向けて、効果的な広報などに連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・鉄道や結節する二次交通などのPR手法について調査・研究を行う。 ・駅やバス停周辺の利便性を活かした公共交通利用促進のイベントを開催する。 ・鉄道や結節する二次交通など公共交通を紹介する番組制作に向けて連携して取り組む。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	100	1,000	1,000	1,000	1,000	4,100
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町及び交通事業者と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。必要に応じて、合理的な基準により算出された費用を負担する。				

連携協約の内容	ICT・道路等社会インフラの整備
ICTの活用による利便性の向上、圏域内の交通等の円滑化を図るためのネットワークの整備、広域連携による公共施設のあり方研究など、圏域内の結びつきやネットワークの強化に取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
ファシリティマネジメント研修会の開催回数 (累計)		10回

事業名	情報システム広域連携調査研究					
事業概要	<p>「情報システム広域連携会議」を設置し、各種情報施策や行政システムの効率的な運用に連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・情報システムの共同利用に向けた調査研究、連携各市町の行政システムについての情報交換、国・県の新しいシステムへの対応を行う。 ・日々巧妙化・複雑化し続ける標的型攻撃等の新たなサイバー攻撃に継続的に対応できるよう情報セキュリティ対策についての情報共有等を行う。 ・外部講師による情報システムについての研修会を開催し、圏域内市町の情報システム担当のスキルアップを図る。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	100	100	100	100	100	500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。				

事業名	広域航空写真地図データ整備					
事業概要	<p>広域航空写真地図データの効率的な作成や更なる有効活用を図るため、データ整備を共同で行うとともに、更なる有効活用に向けた調査・研究に連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・GIS等で利用できる広域の航空写真地図データの共同撮影を行う。 ・広域航空写真地図データの防災業務での利用など、様々な分野での活用について調査・研究を行う。 					
関係市町	福井市、大野市、勝山市、鯖江市、越前市、坂井市、永平寺町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	0	71,700	0	0	71,700	143,400
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。 合理的な基準により算出された費用を負担する。				

事業名	広域幹線道路ネットワーク整備促進					
事業概要	<p>新たな観光ルートの発掘や物流の効率化による地域の活性化を図るため、地域高規格道路や産業道路へのアクセス道路の整備促進など、高速交通ネットワークの構築に向けて連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・観光や商工業における輸送のための広域的なネットワーク構築に向けて、勉強会の開催など調査・研究を行う。 ・道路整備に必要な関係機関との連絡・調整や、望ましい道路整備を実現するための活動を行う。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	1,000	1,000	1,000	1,000	1,000	5,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関係機関との連絡・調整など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

事業名	除雪力向上広域連携ネットワーク形成					
事業概要	<p>雪に強く快適で安全な地域づくりを推進するため、除雪に係る諸問題解決に向け情報交換等を行うとともに、先進的な事例等を調査・研究し、除雪力向上に連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・除雪力向上のため、除雪協力企業の担い手不足などの諸問題解決に向け研修会を開催する。 ・GPSを用いた位置管理システムや日報整理や克雪・利雪の技術開発など先進的な事例の情報収集のため視察を行う。 ・大雪に対応するため、雪害時応援協定などソフト・ハード両面の環境整備を検討する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	100	100	1,100	100	100	1,500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	課題等の情報提供など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

事業名	公共施設あり方研究					
事業概要	<p>圏域内住民のサービス維持・向上や施設管理コストの縮減を図るため、「ファシリティマネジメント研修会」や「公共施設のあり方に関するシンポジウム」を開催するなど、ファシリティマネジメントに連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・公有財産の有効活用や包括民間委託制度など圏域内市町が抱える課題等について研修会を開催する。 ・施設マネジメントに関する先進事例、施設の利用料金のあり方や共同利用等について研究を行ったうえで、モデルケースを選定する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	200	400	200	200	200	1,200
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

連携協約の内容	地域内外の住民との交流・移住促進
圏域の魅力に関する情報の発信力を強化するなど、大都市圏からの移住定住の促進及び交流人口の拡大に取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
U・Iターン者数	640人 (H29)	725人

事業名	移住促進・首都圏等情報発信強化					
事業概要	<p>圏域の暮らしやすさを広くPRし、交流・移住の促進を図るため、交流・移住イベントの共同出展や福井市東京事務所の活用など、首都圏や関西圏、中京圏での情報発信等を連携して行うとともに、圏域内市町間で移住相談窓口の連携強化に取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・首都圏、関西圏、中京圏での交流・移住イベントへの共同出展を行う。 ・圏域内市町間で移住相談窓口の連携を強化し、圏域全体で移住希望者受入れに取り組む。 ・「連絡会議」を設置し、情報共有等連携を強化する。 ・圏域内市町の交流・移住情報等を取りまとめ、福井市東京事務所に各市町のパンフレット等を置くなど情報発信を行う。 ・在京マスコミや圏域出身者等と連携した情報発信を相互に行う。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	2,600	2,400	2,400	2,400	2,400	12,200
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	交流・移住情報等の提供など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

連携協約の内容	ネットワークの強化・人材の育成
地域づくりを担う人材の育成、圏域内の市町職員の人材育成や交流など、圏域マネジメント能力の強化に取り組む。	

成果指標	現状値	目標(H35)
地域おこし協力隊の配置人数 (累計)	27人 (H29)	55人

事業名	広報ネットワーク強化					
事業概要	<p>「広報連絡会」を設置し、広報媒体の共有、圏域内の市町職員間の意見交換などを行うとともに、「広報スキルアップ講習会」等を開催することにより、広報担当職員のスキルアップを図る。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内市町の広報担当職員間での情報共有の強化を図る。 ・広報紙をはじめテレビ、ラジオ、ホームページ、SNSなどの広報媒体に関して、相互掲載などの可能性を協議するなど、連携した取組を行う。 ・広報紙作成やカメラ撮影などについて研修会を開催する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	100	100	100	100	100	500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	住民への情報発信など、事業実施に連携して取り組む。				

事業名	地域おこし協力隊連携促進					
事業概要	<p>圏域内の地域おこし協力隊の活動の更なる充実による地域の活性化を図るため、地域おこし協力隊の新規採用をはじめ、人材育成や地域づくり活動に連携して取り組む。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・東京・大阪で開催される地域おこし協力隊の募集イベント等に合同で出展する。 ・圏域内市町の地域おこし協力隊及び担当職員向けの研修会等や情報交換・意見交換会を開催する。 ・圏域内市町の地域おこし協力隊の隊員による共同事業の企画・運営に対し支援する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	1,800	1,800	1,800	1,800	1,800	9,000
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	関連情報の提供など、事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

事業名	職員共同研修開催					
事業概要	<p>圏域内の市町職員の資質及び政策形成能力や行政運営能力の向上を図るため、「職員共同研修」を開催する。</p> <p>(主な事業内容)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・圏域内の各市町共通の課題解決につながるようなテーマで講演会等を開催する。 ・県自治研修所等で行う研修を補完するような内容の研修会を検討する。 					
関係市町	全市町					
事業費 (千円)	H31	H32	H33	H34	H35	計
	300	300	300	300	300	1,500
役割分担 及び 費用負担	福井市	連携市町と連絡・調整を行い、事業の企画・運営を行う。 事業実施に必要な費用を負担する。				
	連携市町	事業実施に連携して取り組む。 必要に応じて、事業実施に必要な費用を負担する。				

2 成果指標（再掲）

本ビジョンの具体的取組の成果を検証するために、「圏域全体の経済成長のけん引」、「高次の都市機能の集積・強化」、「圏域全体の生活関連機能サービスの向上」の各役割における「連携協約の内容」ごとに指標を設定する。

（１）圏域全体の経済成長のけん引

成果指標	現状値	目標(H35)
商工業振興施策検討協議会における経済成長につながる新たな施策の提案件数 (累計)		5件以上
新事業創出支援事業の支援件数 (累計)		10件
農林水産物特産品販路拡大事業の参加事業者数		60社
観光客入込数 (延べ人数)	2,249.2万人 (H29)	2,913.6万人

（２）高次の都市機能の集積・強化

成果指標	現状値	目標(H35)
JR福井駅の乗車人数	374.4万人 (H29)	464.5万人
企業若手人材育成懇談会の参加者数		年間60人

(3) 圏域全体の生活関連機能サービスの向上

成果指標	現状値	目標(H35)
病児保育事業の圏域内市町間契約数	36件 (H30)	38件
社会教育講師派遣事業の登録者数		130人
主要文化施設の入込者数	119.3万人 (H29)	130万人
就職支援事業を利用して就職した若者及び女性等の数 (累計)		100人
新たな上級救命講習の参加者数 (累計)		250人
企業向け環境研修会の参加企業数 (累計)		200社
JR越美北線・えちぜん鉄道・福井鉄道の乗車人数	594.4万人 (H29)	675.9万人
ファシリティマネジメント研修会の開催回数 (累計)		10回
U・Iターン者数	640人 (H29)	725人
地域おこし協力隊の配置人数 (累計)	27人 (H29)	55人

ふくい嶺北連携中枢都市圏ビジョン

平成 31 年（2019 年）4 月 1 日 策定

福井市総務部総合政策課
福井市大手 3 丁目 10 番 1 号
TEL 0776-20-5283